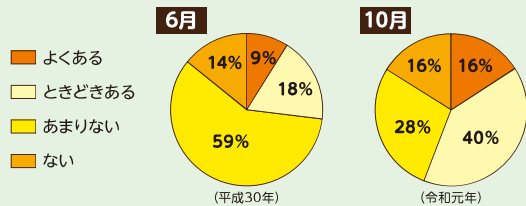


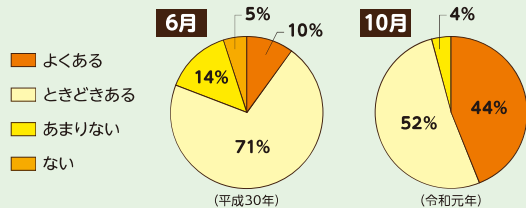
租税アンケートによる変化

このアンケート結果は平成30年6月1-2年生
令和元年10月2-3年生によるものです

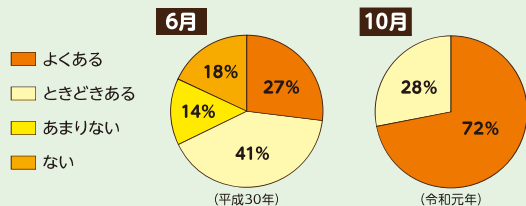
(1) 家庭で税金に関する話を聞いたり、話したりしたことがありますか？



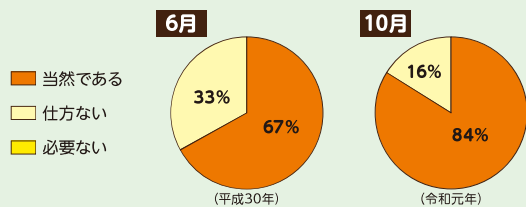
(2) 税金に関するニュースをテレビや新聞で見たり、聞いたりしたことがありますか？



(3) 税金が役に立っていると思うことがありますか？



(4) 税金を納めることをどのように思いますか？



2年間を通して租税について学習した感想

- 税金の大切さがよくわかった。税金のおかげで病院や学校に行くことができている。働き始めたらしっかり税金を納めたい。税金をいかにするために政治をする人を自分で決め、社会に貢献したい。
- 租税の勉強をして、「なんで払うの？」から「払わないといけない。」に変わった。勉強をしてよかった。
- この2年間で学んだことを広めていきたい。「全員=税員」を広めていきたい。
- 税金を納めるだけでなく、その税金が何に使われているかを学ばなければならないと思う。租税を学ぶことによって考え方が広がったと思う。
- 消費税が10%になり嫌だったけど、生活の様々な所で税金が使われていることを知ってやっぱり税金を払うことは大切だと思った。租税教室を通していろいろなことを知ることができた。

Ⅵ 成果と課題

1. 成果

2年間の研究において、本校の特色と成果は以下の5点にまとめることができる。

- (1) 本校では租税教育の取り組みを新設するのではなく、学校教育活動や総合的な学習の時間等において、すでに実施されてきた体験活動などを租税教育の視点から見直すことで、より深まりのある取り組みに発展させることができた。
- (2) 本校では、2014年より「NAOSTYLE」という独自の教育活動の取り組みを進めてきた。中でも、さまざまな場面で学年集団を解いた「縦割り班活動」を行ってきたが、租税教育でも「ZeroCircle」を組織し、それにより異年齢の生徒による協働性を高めることができた。
- (3) 当初より、教師も「税について生徒と共に学ぶ」という観点から研修を進め、「ZeroCircle」の活動にもメンバーの一人として、教師も参加することにした。これにより、生徒と教師の協働性も高まり、探求プロセスの深まりにつながった。また、「租税教育は同じ未来を担うための教育(共育)」という姿をより鮮明にすることができた。
- (4) 生徒アンケートからは、生徒の税に対する意識の大きな変化を確認することができた。「税をなぜ納めなくてはならないのか」からスタートし、「税の意義」を学びながら「税の使いみちと決定のプロセス」についても関心を高めることができた。さらに、よりよい社会を築くためには、主権者としての権利を行使し、学んだことをこれからも積極的に広めて行くことが大切であることにも気づかせることができた。
- (5) 本校の特色である一人一台タブレット端末の使用や、シンキングツール版口イロノートスクールを活用することによって、双方向型授業やデジタル版ポートフォリオの作成が可能となり、有効なプレゼンツールとして思考を組み立て、表現する力の育成に大いに役立った。

2. 課題

課題としては、以下の2点にまとめることができる。

- (1) 租税教育で学んだことを実生活で活かすためにも、家庭との連携は不可欠であるが、家庭では、税について課題を共有する機会も少なく、今後はPTAと共催する形で租税教室を進めるなど、保護者や地域への啓発活動も重要になってくると思われる。
- (2) 各教科の年間指導計画においても、租税教育を位置づけるために見直しを進めてきたが、それが十分機能していたとは言い難い。道徳科においても憲法精神や公共性など、公民としての資質向上をめざす教育の視点や充実が必要である。

研究同人

平成30年度	校長 柳井 雅子 教頭 市川 満	立石 俊夫 戸高 文世 井川 陽子	小野 恵 木許 省二 野崎 紋子	染矢 幸子 山田 紘一 宗 典子
令和元年度	校長 柳井 雅子 教頭 市川 満	立石 俊夫 戸高 文世 久保田信彦	高山 岳士 野崎 紋子 宗 典子	染矢 幸子 小野 恵



平成30年・令和元年度

大分県租税教育推進協議会委嘱
第2年次

研究報告書

学校教育目標

友や地域と協働しながら、学びに向かい、
自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

租税教育研究主題

友や地域と協働しながら、自ら主体的に
社会に貢献しようと努力する生徒の育成

令和元年(2019年)11月19日(火)

佐伯市立直川中学校

〒879-3102

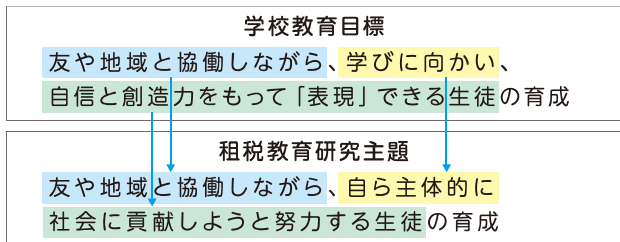
大分県佐伯市直川大字上直見501番地

TEL:0972-58-2009

FAX:0972-25-5007



I 本校学校教育目標と租税教育研究主題の関わり



「主体的」・・・何をやるかは決まっていない状況で、何をすべきかを自分で考え判断し、行動、表現すること。
 「自主的」・・・やるべきことを単に、他人に言われずとも率先して自ら行うこと。

今の「学び」が、将来の自分の幸福や地域社会や持続可能な社会の実現につながっていることを租税教育を通して実感し、さらに発信する。これは本校の学校教育目標の「めざす生徒像」と一致する。

また生徒一人ひとりが、「地域」と「世界」、または「現在」と「未来」の「真ん中に位置する存在」であり、自己を中心とする縦軸と横軸の繋がりを自覚することで、社会に貢献し、自己の将来に真摯に向きあえる自尊心を培うことができると考える。そのような考察の中、租税とは、民主主義の根幹であり、私たちの基本的人権が尊重される社会をささえているものであることを理解させたい。

【租税教育を通してつけたい力（資質と能力）】

- ① 租税、納税に関する正しい知識と理解
- ② 社会に積極的に参画し、よりよい未来を築こうとする意欲と態度
- ③ 学びの積み重ねを自分の将来に活かし、それを主体的に友や社会に伝えていこうとする表現力

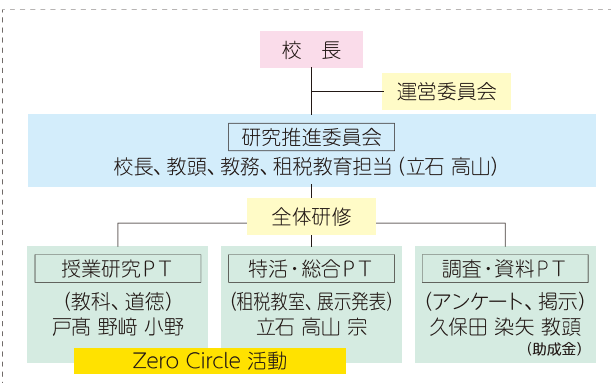
II 本校のめざす生徒像～NAOSTYLEの変遷～

本校は2014年より「本校独自の学力向上プラン及びその他の特色ある活動を統合化する教育活動の総称」として「NAOSTYLE」という概念を用いることにした。さらに本年度は重点目標を「協働しながら自分の課題を解決しようとする生徒の育成」としてめざす生徒像を明確にしてきた。このようなめざす姿を「租税教育」の視点から見直し、さらに学年目標に整理したのが以下の表である。

各学年の租税教育の目標	
1学年 知識	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。
2学年 態度	税について興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会に貢献できる態度を養う。
3学年 表現	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者として最善策を創造、発信し、表現する主体的な態度を養う。

III 租税教育研究内容

- ① 租税アンケートの実施と分析
- ② 教科：各教科の目標に沿った関連指導と協働学習
- ③ 道徳：公徳心や社会連帯の自覚を高め、持続可能な社会の実現(SDGs)
- ④ 特別活動：租税教室や「税の作文」など、社会の一員としての自覚を高める活動
- ⑤ 総合的な学習の時間：体験活動を通じて、主体的、創造的に取り組む諸活動(直川塾、林業体験、職場体験、福祉体験、プレゼン発表)



* PTはプロジェクトチーム

IV 研究経過

平成30年度(2018)		令和元年度(2019)		
5/14	租税教育委囀交付式	推	6/11 第3回租税アンケート	調
5/30	研究主題決定	推	6/17 ZeroCircle目標決定	授
6/7	第1回租税PT会議	推	6/20 道徳授業(全学年)	授
6/11	租税教育プレゼン	推	7/11 租税教室1(現1年)	特
	第1回租税アンケート	調	租税教室3(2、3年)	調
6/12	年間指導計画作成	授	7/17 ZeroCircle夏季活動計画	推
	学習コーナー設置	調	8月中 Circle毎に自主研修	推
7/11	租税教室1(全校)	特	8/27 「税の作文」	特
7/18	道徳授業(全学年)	授	9/30 税務署訪問(3年)	特
8/27	「税の作文」	特	10/21 租税教室4主権者教育(全校)	特
10/1	税務署訪問(3年)	特	第4回租税アンケート	調
11/3	文化祭展示と租税発表	特	11/2 文化祭での租税発表	特
11/20	租税特設授業(全学年)	授	11/6 ZeroCircleまとめ	授
12/3	租税教室2(全校)	特	11/14 ふるさと創生祭	特
12/11	第2回租税アンケート	調	11/19 研究発表会(全校)	授
2/28	卒業プレゼン(3年)	特	ZeroCircle自主研究	
3/4	学習発表(1年)	特	プレゼン及びこれまでの	
	青雲式(2年)		本校の研究について	

* 「推」は推進委員会、「授」は授業研究PTを示す。

V ZeroCircle自主研究プレゼン(研究発表会当日)

全校生徒を縦割り班に組織したZeroCircleによる自主研究報告会

- 1サークル：未来の直川の福祉と税の使いみちについて提言しよう。
- 2サークル：ふるさとを森を守るための森林環境税について提言しよう。
- 3サークル：「日本を元気にするふるさと納税」について調べてみよう。
- 4サークル：中学生の日常を奪う災害と税の関係について考えよう。
- 5サークル：観光客から集める税と佐伯市の税収を増やす方法について考えよう。

【本時に至るまでの研究実践(2019年11月末まで)】

	1 学年	2 学年	3 学年
1 年 次	租税教室1 (7月11日全校対象：南九州税理士会)		
	租税教室2 (12月3日全校対象：財務省九州財務局)		
	起業・投資 (12月19日全校対象：野村ホールディングス)		
2 0 1 8 年 度	・アナザーワールドへ 税の作文(国) 税の歴史(社) 税の基礎知識(総) 社会生活ときまり(道) 林業体験(総)	・アナザーワールドへ 税の作文(国) 災害と防災(社) 税の有効活用(総) 遵法精神(道) 職場体験(総)	税務署訪問 ・暮らしを支える 税を学ぼう ・アナザーワールドへ 税の作文(国) 将来の自分と社会(総) 財政と福祉(社) 社会貢献(道) 福祉体験(総)
	学習発表	青雲式	卒業プレゼン

2 年 次	租税教室1 (1学年) 7月11日(1年、2～3年同日実施)	租税教室3 (2～3学年)	
	租税教室4 主権者教育 (10月21日全校対象：佐伯市選挙管理委員会)		
	・アナザーワールドへ 税の作文(国) 税の歴史(社) 税の基礎知識(総) 社会生活ときまり(道) 林業体験(総) SDGs学習(社)	・暮らしを支える 税を学ぼう 税の作文(国) 災害と防災(社) 税の有効活用(総) 遵法精神(道) 職場体験(総) 京都自主研修(総) SDGs学習(社)	税務署訪問 ・私たちの生活と税 ・暮らしを支える 税を学ぼう 税の作文(国) 財政と福祉(社) 社会貢献(道) 福祉体験(総) SDGs学習(社)
2019年度 11月19日(火) 租税教育公開研究発表会 ZeroCircle自主研究プレゼン			

* 授業は「国税庁」税の学習コーナー参照

平成30年度 令和元年度 大分県租税教育推進協議会委嘱

租税教育公開研究発表会

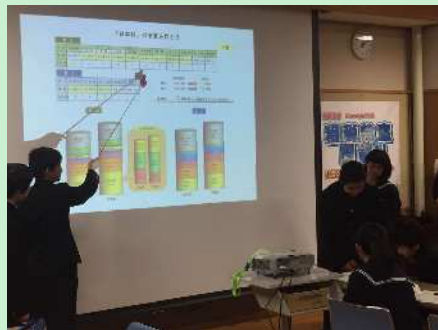


ZeroCircle

自主研究プレゼン

友や地域と協働しながら、自ら主体的に社会に貢献しようと努力する生徒の育成

11月19日（火）大分県佐伯市立直川中学校



第1 circle

直川の福祉と税の使いみち

第2 circle

ふるさとの森と森林環境税

第3 circle

日本を元気にするふるさと納税

第4 circle

日常を奪う災害と税

第5 circle

観光客と佐伯市の税収

平成30年度・令和元年度 大分県租税教育推進協議会委嘱

租税教育公開研究発表会

1. 期 日 令和元年11月19日(火)

2. 研究主題

友や地域と協働しながら、自ら主体的に社会に貢献しようと努力する生徒の育成

3. 日 程

13:10~13:30	13:30~13:40	13:40~15:10	15:20~16:30
受付	説明・移動 (多目的室)	生徒による研究発表 (図書室)	全体会 (ふれあいホール)

4. 生徒による研究発表

学年・教科	内 容
総合的な学習 の時間 1・2・3年 (縦割サークル)	1 サークル：未来の直川の福祉と税の使いみちについて提言しよう。 2 サークル：ふるさとの森林を守るための森林環境税について提言しよう。 3 サークル：「日本を元気にするふるさと納税」について調べてみよう。 4 サークル：中学生の日常を奪う災害と税の関係について考えよう。 5 サークル：観光客から集める税と佐伯市の税収を増やす方法について、考えよう。

5. 全体会(直川小ふれあいホール 15:20~16:30)

- (1) 開会の言葉
- (2) 主催者あいさつ
- (3) 来賓あいさつ
- (4) 来賓並びに関係者紹介
- (5) 研究の概要・協議
- (6) 指導・講評(大分県教育庁義務教育課 指導主事)
- (7) 学校長謝辞
- (8) 閉会の言葉

あいさつ

本日は、公私共にご多用の中、本校の租税教育公開研究発表会に多くのご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は、平成30・31（令和元）年度の2年間にわたり、大分県租税教育推進協議会より、租税教育研究校の委嘱をうけ、関係各位のご指導のもと研究・実践に取り組んでまいりました。

さて、教育をめぐる社会の動向に目を向けますと、急速なグローバル化に伴う高度情報化や技術革新は、私たちの予想をはるかに超えるスピードで進んでいます。このような社会を生きていく子ども達には「今の社会をどのように生きるか」だけでなく、情報や情勢、社会の出来事を受け止め「何が重要かを主体的に判断しながら、社会をどう描くかを考え、多様な他者と協働して課題を解決していくための力をつけること」が強く求められています。

このような中であって、次代を担う子ども達が、国の基本である税の役割や、納税者の権利・義務を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考える機会を得ることは、自分の将来像と真摯に向き合える自尊心を培うことや、よりよい社会や未来を切り拓く主体者になっていくことにつながるものと考えます。

本県の租税教育は、長年この教育課題に正面から取り組み、多数の小・中学校の研究指定校が、貴重な研究成果を実践として残してきています。本校においても、これまでの研究指定校の研究成果を踏まえるとともに、本校の実態、地域との協働に照らして研究を進めてまいりました。

本校の研究推進のフィールドは、学校教育活動全体を通したものであることは言うまでもありませんが、重点的に取り組んでまいりましたのは、各教科の目標に沿った主権者教育や消費者教育、公德心や社会連携の自覚を高め、持続可能な社会の実現（SDGs）を考えさせる道徳科、ならびに、租税について地域やふるさと直川の現状に触れながら多面的・多角的に探求し、発展させていく総合的な学習の時間です。

2年間のささやかな取り組みですが、研究が進むにつれ、持続・継続すべき視点や、未来を担って行く立場に立った新たな課題にも、気づきを見いだしています。本校といたしましては、多くの皆様の率直なご意見をいただきながら、今後の研究や教育活動に生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、本研究会を開催するにあたり、熱心にご協力・ご支援をいただきました大分県租税教育推進協議会、大分県教育委員会・佐伯教育事務所・佐伯市教育委員会の指導主事の皆様方、親身になってお世話いただいた大分税務署の広報広聴官の皆様、佐伯税務署の皆様をはじめ関係諸機関並びに各位に心より感謝申し上げます、あいさつといたします。

令和元年11月19日

佐伯市立直川中学校

校長 柳井 雅子

学 校 ・ 地 域 の 概 要

現在の佐伯市は、平成17年3月に旧佐伯市・上浦町・弥生町・本匠村・宇目町・直川村・鶴見町・米水津村・蒲江町の1市8町村が合併し、九州最大面積の市として誕生した。

当直川地区は、佐伯市西部に位置し、久留須川に沿って国道10号線と日豊本線が平行して南北に縦断しており、古くから交通に恵まれていた。地形は、林野面積が約90%を占めており、平地は約10%に過ぎず、河川に沿って耕地が開かれ水田が大半をしめている。

平成17年の合併当時、人口約2,900人、1004世帯だったが、平成31年度3月末の調査では、人口の約28%が減少し、現在約2,100人となっている。また、高齢化率は50%を上回った。そんな中、直川地域では「人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川」をキャッチフレーズに『なおかわ安心プロジェクト』『なおかわ活力プロジェクト』を掲げ、地域が一体となって様々な活動を推進している。

プロジェクトの一貫として、毎年7月に行われる「かぶとむし木登り大会」は、恒例行事として定着している。佐伯市内のみならず、遠く県外からも多くの来場者を集め賑わっている。その他、農家民泊（グリーンツーリズム）では、台湾、タイ、中国等の学生を受け入れており、直川小・中学校でも文化交流などを重ねている。また、「憩いの森キャンプ場」や「鉱泉センター直川」などの観光施設の来場者や利用者を誘致するなど、定住人口の減少を「交流人口・関係人口」を増やすことで、地域に活力を生み出している。

本校は、戦後まもない1947（昭和22）年5月17日に新制中学校として開校した。1951（昭和26）年の村合併により「直川村立直川中学校」と改称。さらに1991（平成3）年には平成の大合併により、その名を「佐伯市立直川中学校」として、現在に至る。また日々、生徒たちが斉唱している直川中学校の校歌は1964（昭和39）年10月4日に、作詞平井真寿美さん、作曲松尾英一さんにより制定され、2017年（平成29年）に開校70周年を迎えた。人間で言えば「古希」を過ぎ、その歴史を刻んでいる。

現在は各学年1クラス、全校生徒26名である。小中一貫教育を掲げ、本年度からコミュニティ・スクールとして新たにスタートを切った。「子どもは地域の宝」という意識が高く、総じて教育に対する関心や期待も高く、学校教育活動にも協力的である。（直川村基本構想・総合計画他 参照）



目 次

I 研究の概要

1. 学校教育目標と租税教育研究主題	・・・・・・・・ 1
2. 主題設定の理由	・・・・・・・・ 1～2
(1) 学校教育目標から	
(2) 生徒の実態（租税教育に関する生徒の実態）	
(3) 各学年の租税教育の目標	
3. 租税教育研究内容	・・・・・・・・ 2
4. 研究の全体構想図	・・・・・・・・ 3
5. 研究組織図（租税教育）	・・・・・・・・ 4
6. 租税教育の年間指導計画	・・・・・・・・ 5
7. 研究推進計画及び経過	・・・・・・・・ 6～7

II 研究の実践

1. 総合的な学習の時間との関連	
(1) 「総合的な学習の時間」年間指導計画	・・・・・・・・ 8
(2) 学校を核としたふるさと創生事業に係る「付けたい力」一覧	・・・・ 9
(3) 租税教室について	・・・・・・・・ 10～11
(4) 各学年の年間指導計画	・・・・・・・・ 12～14
(5) 実践資料	
2. 道徳科・道徳教育との関連	
(1) 道徳科・道徳教育全体計画	・・・・・・・・ 15
(2) 租税教育との関連を図った提案授業	・・・・・・・・ 16～21
(3) 各学年の年間指導計画（抜粋）	

※ 租税アンケートの分析、研究の成果と課題については
別冊配布の「研究報告書」内容をご参照願います。

III その他

資 料

研究同人

I 研究の概要

1. 学校教育目標と租税教育研究主題

学校教育目標

友や地域と協働しながら、学びに向かい、
自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

重点目標 ①協働しながら自分の課題を解決しようとする生徒の育成
②自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

租税教育研究主題

友や地域と協働しながら、自ら主体的に
社会に貢献しようと努力する生徒の育成

2. 主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

本校では、学校教育目標を「友や地域と協働しながら学びに向かい、自信と創造力をもって『表現』できる生徒の育成」とし、協働をキーワードに「生きる力」の育成を中核に据えて、教育活動に取り組んできた。また、隣接する小学校と連携した、小中一貫教育を平成17年度から推進してきており、地域に開かれた特色ある学校づくりに力を入れてきた。本年度からは、本格的にコミュニティ・スクールを発足させ、更なる地域との協働・連携をめざしている。「いつも子どもがまん中」を合い言葉に、家庭や地域と協働し学びを深めながら、ふるさと創生を担う※グローバルな生徒として、たくましく成長する姿を願っている。

※ローカルで… (郷土愛、郷土に貢献する態度を持つ)

グローバルな… (国際理解、「コミュニケーション力」、「論理的思考力」「シミュレーション力」「プレゼンテーション力」を身につけていること)

このような教育活動を進めてきた中、大分県租税教育推進協議会から「租税教育研究校」の委嘱を受け、学校教育目標と租税教育との新たな関連を探りながら、2カ年に渡る研究を推進してきた。

(2) 生徒の実態（租税教育に関する生徒の実態）

本校の生徒は、総じて明るく規律ある学校生活を送っている。地域行事やボランティア活動等にも積極的に参加し、学年の枠を越えて協働する姿が日常の中にあふれている。一方で、幼稚園の頃から固定化された少人数集団の中で育つこともあり、発達段階に伴って変化する人間関係の築き方に戸惑いを感じ、自分に自信が持てず進路や自らの将来像に対して不安を抱えている生徒もいる。

生徒の税金に対する意識は、主にマスコミや情報メディア・学校の社会科授業・家庭での会話等を通して形成されていると考えられる。特に最近は、厳しい財政状況や年金をめぐる問題、消費税等の話題がマスコミで頻繁に取り上げられ、生徒も「税金」という言葉を耳にする機会が多くなっている。一方で、消費税については知っているものの、他の税金の種類やしくみ、またその税金が生活の中でどのように使われているか等についてはほとんど意識しておらず、「税金をとられる」といったマイナスイメージを持っている生徒もいた。

そのため、税金の役割と納税の重要性を理解し、これからの自分の在り方と税金について考えることは、社会の一員としての自覚を高め、社会をよりよくしていこうとする資質と気概を持ち、主体的に行動できる社会人として成長していくために是非必要であると考えられる。

そこで、協働しながら学びに向かうことや課題を解決していく力、自信と創造力、自分の意見を自分の言葉で堂々と表現できる力を着実に高めていくことで、よりよい社会の一員として自分の考えをしっかりと持ち、自ら主体的に判断し、行動する生徒が育つと考え、本主題を設定した。

(3) 各学年の租税教育の目標

本校は「本校独自の学力向上プラン及びその他の特色ある活動を統合化する教育活動の総称」として「NAOSTYLE」という概念を用いている。さらに昨年度の重点目標「学びの積み重ねを活用に結びつける力を身につけた生徒の育成」を経て、本年度は「協働しながら自分の課題を解決しようとする生徒の育成」「自信と創造力をもって『表現』できる生徒の育成」を掲げ、めざす生徒像を明確にしてきた。このようなめざす姿を「租税教育」の視点から見直し、さらに学年目標に整理したのが以下の表である。

各学年の租税教育の目標	
1 学年 知 識	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。
2 学年 態 度	税について興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会に貢献できる態度を養う。
3 学年 表 現	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者とし最善策を創造、発信し、表現する主体的な態度を養う。

3. 租税教育研究内容

- ① 租税アンケートの実施と分析
- ② 教科：各教科の目標に沿った関連指導と協働学習
- ③ 道徳：公德心、社会連帯の自覚を高め、持続可能な社会の実現（SDGs）
- ④ 特別活動：租税教室や「税の作文」など、社会の一員としての自覚を高める活動。
- ⑤ 総合的な学習の時間：体験活動を通じて、主体的、創造的に取り組む諸活動
（直川塾 林業体験 職場体験 福祉体験 プレゼン発表）



(1 年生：道徳科授業)



(1 年生：林業体験)



(3 年生：第 2 回直川塾)



(租税作文表彰式 H31)

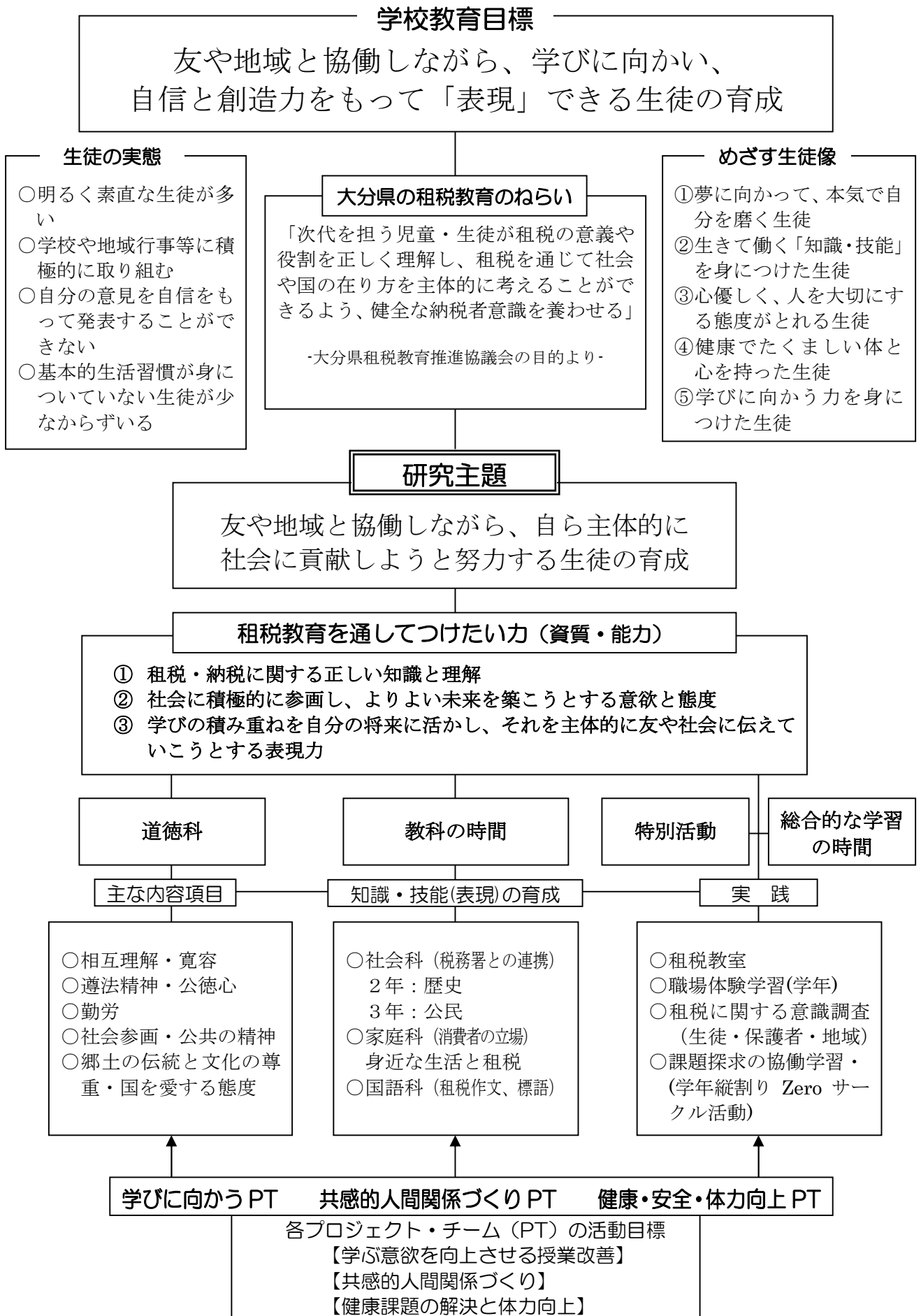


(2 年生：職場体験)

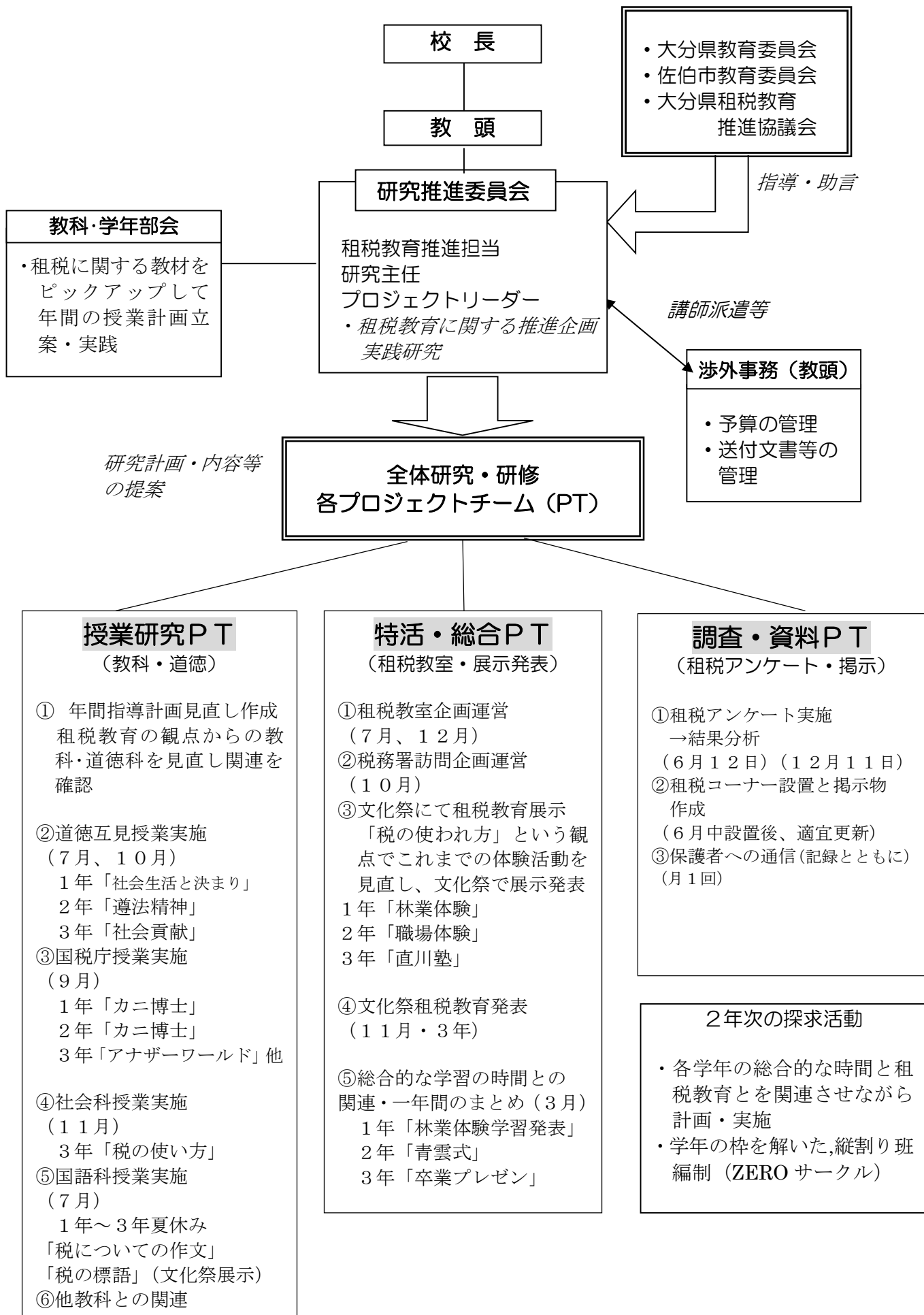


(租税作文表彰式 R1)

4. 研究の全体構想図



5. 研究組織図（租税教育）



6. 租税教育の年間指導計画

月	1年生	2年生	3年生
4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリング ・身近な生物の観察（理科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリング ・「花」（音楽） ・「花の街」（音楽）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の音楽や文化、社会状況について話し合う（音楽） ・浜辺の歌（音楽） ・ふれあい直売所（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した食品の選択と調理（家庭） 	<ul style="list-style-type: none"> ・直川塾第一講座（行政の役割） ・No Charity, but a Chance!（道徳）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式（数学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・印象に残る説明をしよう（国語） ・連立方程式の利用（数学） ・夏の思い出（音楽） ・明治維新の三大改革（社会） ・海と空（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・直川塾第二講座（ふるさとの産業） ・直川塾第三講座（グローバルへ） ・仕事とエネルギー（理科） ・戦後の改革（社会） ・自分・相手・周りの人（道徳）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回租税教室（総合） ・あったほうがいい？（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回租税教室（総合） ・美しい鳥取砂丘（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回租税教室（総合） ・「伝わる」表現について考えよう（国語）
8			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の人々の暮らし（社会） ・方程式の利用（数学） ・租税に関する書写に取り組もう（国語） ・Field Trip（英語） ・水溶液（理科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市景観条例の取組（社会） ・一次関数の利用（数学） ・租税に関する書写に取り組もう（国語） 	<ul style="list-style-type: none"> ・租税に関する書写に取り組もう（国語） ・二通の手紙（道徳） ・公園に桜を（道徳）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・使っても大丈夫？（道徳） ・商品の選択と購入（家庭） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動する建築家（道徳） ・さよなら、ホストファミリー（道徳） ・地域の食材を知る。（家庭） 	<ul style="list-style-type: none"> ・税務署訪問（総合） ・Place to Go, Things to Do（英語） ・政府の経済活動と租税（社会） ・化学電池（理科）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを報告しよう（国語） ・公平と不公平（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・回路と電流・電圧（理科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の形成（社会） ・租税教育1年次のまとめ発表（総合） ・We can change our world（英語） ・日本の伝統音楽「羽衣」
12	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回租税教室（総合） ・日本の民謡（音楽） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回租税教室（総合） ・My Dream（英語） ・日本の伝統音楽「勸進帳」（音楽） ・オーストリアのマス川 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回租税教室（総合的な学習） ・子どもと家族や周囲の人々（家庭）
1		<ul style="list-style-type: none"> ・ダショー・ニシオカ（道徳） ・門掃き（道徳） 	<ul style="list-style-type: none"> ・たいせつなエネルギー資源（理科）
2		<ul style="list-style-type: none"> ・気象観測（理科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業プレゼン（総合）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布（数学） ・役に立つことができるかな（道徳） 		<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査（数学）
学年目標	税について興味関心を持ち、様々な知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。	税について、興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会に貢献できる態度を養う。	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者として最善策を創造、発信し、表現する主体的な態度を養う。

7. 年間研究推進計画及び経過

佐伯市立直川中学校（平成30、31年度委嘱校） 租税教育研究推進状況報告

行事名	実施時期	実施結果の概要
租税教育研究推進委員会	4月11日（水）	租税教育研究推進体制・取り組み内容について
租税教育研究委嘱校説明	4月24日（火）	租税教育研究委嘱校についての説明受け（税務広報聴官等3名来校）
校内研究	5月16日（水）	租税教育研究の1年次活動計画
校内研究 PT（プロジェクトチーム）会議	5月30日（水）	租税教育PT（プロジェクトチーム）編成 「研究主題」決定
租税教育紹介プレゼン 第1回租税アンケート	6月11日（月）	全学年を対象に、研究主任が租税学習プレゼン全校で「租税学習」の意義目的を共有
第1回租税教室の講師との 事前打ち合わせ	6月28日（木）	第1回租税教育の講師来校。事前打合せ （南九州税理士会佐伯支部：清家大輔氏） （佐伯税務署より担当者来校）
第1回租税教室	7月11日（水）	第1回租税教室実施（全学年対象）
「税の作文」月間取組	7月11日～ 8月27日	※夏季休業を活用し「第1回租税教室」の学びから 「税の作文」に取り組む（全学年対象）
校内研究 PT（プロジェクトチーム）会議	9月26日（水）	各PTの進捗状況報告、今後の取組の確認
佐伯税務署訪問	10月 1日（月）	佐伯税務署訪問（3年生）
「税の作文」表彰	10月29日（月）	佐伯税務署長来校の上、表彰式 佐伯税務署長賞 2年生：下川あおい 佐伯医師会長賞 2年生：増尾有花
租税教育学習成果発表	11月 3日（土）	「直川中学校文化祭」にて学習成果発表 3年生：プレゼン 租税標語展示（全学年）
租税教育特設授業	11月20日（火）	全学年を対象に国税庁作成「ご案内します。アナザーワールド」視聴。内容について意見交流
第2回租税教室	12月 3日（月）	大分財務事務所による「財政教育プログラム」 実施。各班のプログラム案をプレゼン発表

第2回租税アンケート	12月11日(火)	「第2回租税教室」の学びを経て
ビジネスチャレンジ学習	12月19日(水)	野村ホールディングス(酒井賢一氏)を講師に起業と投資からグループワークで税を考えた。
卒業プレゼン発表 (3年生)	2月28日(木)	総合的な学習や租税教育他、学びの積み重ねを自分の将来に重ねた内容で、保護者や地域の方々を招き、3年生一人一人がプレゼン発表した。
青雲式(2年生) 総合学習発表(1年生)	3月4日(月)	総合的な学習や租税教育他、学びの積み重ねを各学年の学習段階に応じて成果をまとめ、保護者に向けてプレゼン発表した。
校内研究 PT(プロジェクトチーム)会議	3月20日(水)	1年次の「租税教育」取組に関するまとめ・振り返りと、2年次の研究推進計画の検討

平成31年度(令和元年度) 租税教育研究推進状況報告

行事名	実施時期	実施結果の概要
校内研究 PT(プロジェクトチーム)会議	4月3日(水)	租税教育PT(プロジェクトチーム)会議 新研究推進体制編成・2年時研究の取り組み
租税教育研究委嘱校訪問 (2年次)説明	4月23日(火)	租税教育研究委嘱校2年時次の説明・打合せ (税務広報広聴官等3名来校)
校内研究 PT(プロジェクトチーム)会議	5月14日(金)	租税教育研究の1年次経過報告・2年次の研究 推進計画確認
佐伯市租税教育推進協議 会定期総会	5月27日(月)	佐伯税務署にて
PT(プロジェクトチーム)	5月31日(金)	「Zero・サークル」全校提案・説明 「Zero・サークル」⇒各サークル活動スタート
第3回租税アンケート	6月17日(金)	税に関するアンケート(意識調査)
租税教育集会	6月19日(水)	租税教育推進班「Zero・サークル」目標決定
第3回租税教室	7月11日(木)	第3回租税教室実施(1年生、2・3年生) (南九州税理士会佐伯支部:清家大輔氏)
「税の作文」月間取組	7月29日～ 8月23日	※夏季休業を活用しこれまでの「租税教育」の 学びから「税の作文」に取り組む(全学年対象)
PT(プロジェクトチーム)会議	9月18日(水)	「Zero・サークル」進捗状況報告
佐伯税務署訪問	9月30日(月)	佐伯税務署訪問(3年生)
第4回租税教室	10月21日(月)	第4回租税教室実施(全校対象・Zeroサークル) (佐伯市選挙管理委員会事務局より2名来校)
「税の作文」表彰	11月6日(水)	佐伯税務署長来校の上、表彰式 佐伯市薬剤師会長賞 2年生:木許千遥
租税教育公開研究発表会	11月19日(火)	平成30年・令和元年度 大分県租税教育推進協議会委嘱

研究の実践

1. 総合的な学習の時間との関連

- (1) 「総合的な学習の時間」年間指導計画
- (2) 学校を核としたふるさと創生事業に係る
「付けたい力」一覧
- (3) 租税教室について
- (4) 各学年の年間指導計画
- (5) 実践資料

令和元年度（平成31年度） 「総合的な学習の時間」 年間指導計画

佐伯市立直川中学校

学年	主 題	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年	地域と人の生き方を知ろう ～直川の地域おこしをプレゼンで提案しよう～ (年間 50 時間)	<p align="center">【最終課題】 直川の地域おこしをプレゼンしよう ～「林業体験から地域おこしを考える」～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>◆資料や講話から地域おこしを考える (12h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○班ごとにテーマを設定し資料をもとに直川について調べる ○林業講話を聞く ○講話をもとに地域や産業の活性化について意見を出し合う ○思考ツールの活用法を知る </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>林業体験学習 8</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆林業体験から地域おこしを考える (18h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業体験をもとに、地域の産業に結びつけて考える ○調査した内容を文章や図、グラフにまとめる。 ○思考ツールを用いて地域おこしの方法について考えを出し合いまとめる。 ○ICT機器とプレゼンについて学ぶ </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>中間発表</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆地域おこしをプレゼンで振興局に提案する (12h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中間発表を発展させてプレゼンづくりをする ○班ごとの地域おこしの方法について発表する ○意見感想をもとに、自分の考えをまとめる </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>最終プレゼン</p> </div> </div>											
2年	人の生き方に学び、自分の将来の姿を描こう ～働くことの意義や課題について調べ、プレゼンで発表しよう～ (年間 70 時間)	<p align="center">【最終課題】 人の生き方についてプレゼンしよう ～「職業と人の生き方から自分の将来を考える」～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>◆職業について調べ、働くことの意義や課題を知る (15h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○班ごとに職業を選び、働くことの意義ややりがい、課題について調べる ○地域講師の講話 ○職業体験講話 ○職業について調べたことをポートフォリオにまとめる </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>市内企業訪問</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆職業体験や日本の伝統文化の学習から人の生き方を考える (21h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職業体験学習の体験をもとに、職業の特色や必要な経験・資格・免許・学歴等について調べる ○日本の文化財に関連する代表的な人物の生き方について調べまとめる→修学旅行でのインタビュー活動 </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>職場体験学習 6</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆職業や人の生き方についてプレゼンで発表する (18h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中間発表として文化祭で職場体験新聞および自主研ポートフォリオを展示 ○図書館や映像などで情報収集し、考えを深化させる。 ○班ごとに調べたことを発表する ○高等学校訪問 </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>最終プレゼン</p> </div> </div>											
3年	グローバルな視点から地域・世界・自分の生き方について考えよう ～「世界・地域の中での自分の生き方」について卒論プレゼンをしよう～ (年間 70 時間)	<p align="center">【最終課題】 卒論プレゼンをしよう ～直川のこれからを考え、自分の未来設計図を描こう～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>◆直川に生きる人に学び、進路について考える (25h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料による学習 ○「直川塾」講話Ⅰ ○「直川塾」講話Ⅱ ○「直川塾」講話Ⅲ ○レポートまとめ ○ICT機器学習・発表 </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>福祉体験学習 6</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆地域の内外に目を向けて生き方を考えよう (27h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○APU学生との国際交流 ○SYDS 講演 ○地域の中でともに活動する ○直川でグローバルに生きる人に学ぶ。 ○まとめ </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>中間発表 B</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>◆卒業プレゼンをしよう (18h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いのちの授業 ○未来設計図を描こう。 ○プレゼンまとめ ○感謝の思いを表そう。 ○巣立ち運動 </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>卒論プレゼン</p> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">基礎学習→課題設定→資料収集→考察→まとめ</p>											

学校を核としたふるさと創生事業に係る「付けたい力」一覧

佐伯市立直川中学校

学年		1	2	3
テーマ、単元名		地域と人の生き方を知ろう	人の生き方に学び、自分の将来の姿を描こう	グローバルな視点から地域・世界・自分の生き方について考えよう
探究課題		直川の地域おこしについてプレゼンしよう ～「林業体験から地域おこしを考える」～	人の生き方について学び考えたことをプレゼンしよう～「職業と人の生き方から自分の将来を考える」～	卒論プレゼンをしよう ～「直川のこれからを考え、自分の未来設計図を描こう」～
視点		資質・能力が身についた生徒の姿		
何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・技能」の習得)	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 林業体験講師の講話をもとに、直川地区の産業や地域の活性化などの地域おこしを考えることができる。 体験や調査を通して地域の産業について理解を深め、情報を比較・関連付けるなどの技能を使って、直川の地域おこしについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職業について考え、自分の将来の姿を描くとともに、職場での体験を通して職業の意義がわかる。 人の生き方をテーマとして、学んで得た情報を多面的に考えまとめるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や世界について3年間をかけて学んだことから、地域活性化に関わる人々の、思いや願いがわかる。 私たちにできることは何かについて、将来の展望を持ってプレゼンテーションし、情報発信や表現に結びつける技能を身に付けている。
理解していること・できることをどう使うか (未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)	課題の設定	○ふるさと(直川)と社会との関わりを考えて課題を見だし、解決の方向性や手段を考え、見通しをもって追究している。		
	情報の収集	○目的に応じて手段を選択しながら情報を収集し、課題解決に必要な情報を取捨選択している。		
	整理・分析	○複雑な問題状況における事実や関係について、事象を比較したり因果関係を推論したりして理解し、視点を定めて多様な情報を分析している。		
	まとめ・表現	○調べたり考えたりしたことを相手や目的、意図に応じて論理的にまとめ、表現している。		
	ふり返り	○学習の仕方や進め方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。		
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)	主体性	○課題に誠実に向き合い、解決に向けて探究活動に進んで取り組もうとしている。		
	自己理解	○自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって探究活動に取り組んでいる。		
	内面化	○探究的な課題解決の経験を自己の成長と結びつけ、次の課題へ積極的に取り組もうとしている。		
	協同性(協働性)	○課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組んでいる。		
	他者理解	○異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に向き合い互いを理解しようとしている。		
地域貢献	○ふるさと直川と自分・社会・世界とのかかわりを考えながら、積極的にふるさと直川の活動に参加しようとしている。			

II 研究の実践

(3) 租税教室について（4回実施）

- 目的：① 税のしくみや役割を身近に感じさせることで、税金の大切さを考える。
 ② 自分たちの社会が税金によって支えられていることを知ることで、納税の義務が意図する、公平な税負担の仕組みや、税金の使われ方について理解させる。
 ③ 税制度を学ぶことは、「将来の自分たちの生活や社会」を学ぶことに直結していることを理解させる。

平成30年度の取り組み

○第1回租税教室（平成30年7月11日）

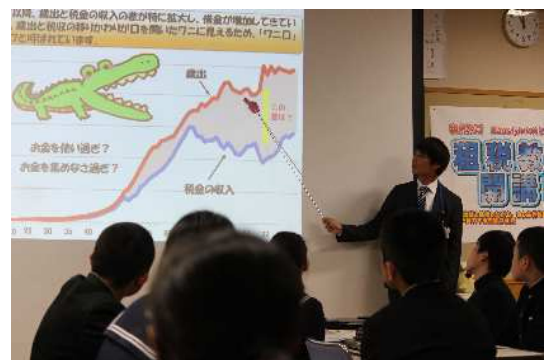
第1回目の租税教室は、南九州税理士会の税理士「清家大輔」氏を講師としてお招きし、全校一斉に学んだ。事前の取り組みとして、6月11日に租税教育に関する全体学習を開いており、その時に実施した「税に関するアンケート」の集約内容をもとに、わかりやすく丁寧に講義をして下さった。租税の仕組みや大切さについて考えることにつながり「豊かで安心できる暮らしを実現するために、税金がどのように使われているか」といった、税の役割や必要性を楽しみながら理解できた。



○第2回租税教室（平成30年12月3日）

第2回目の租税教室は、財務省九州財務局大分財務事務所より2名の講師の他、大分税務署の広報公聴官をお招きし、グループワーク形式を取り入れながら学んだ。「日本村の予算を考えよう！」というテーマで、治安・医療・教育などの現状分析をもとに、協議を進めた。

架空の日本村の予算編成をする過程では、歳出や税収の移り変わりなどに着目し「今後、どのようにして資金（お金）を集め、そのお金をどのように使えば、日本村の未来をよりよくできるか」をシミュレーションしながら、財政の仕組みや税金の有意義な使われ方などについて、学習を深めることができた。



令和元年度の取り組み

○第3回租税教室（令和元年7月11日）

第3回目の租税教室は、2時間枠で実施した。1時間目は、租税教室が初めてとなる1年生に対して、南九州税理士会の税理士「清家大輔」氏が講師となり、租税のしくみなどを丁寧に解説して下さった。2時間目は全校生徒を対象に、「税金の集め方と使いかた」について縦割り班活動で、ワークショップを実施。税金の公平な使い方を考えながら、「公平」とは、誰・何に対して、どのように使うことが大事なのか、また誰もが納得する税の使い方には、幾通りも可能性と方向性があるということに気づき、考えを深めていくきっかけとなった。



○第4回租税教室（令和元年10月21日）

第4回の租税教室は、全学年で「主権者教育」を受講した。今回は「集められた税をどのように使うのか、その使いみちを決定する予算に関わる代表者（国会議員や地方議会議員）を選ぶ選挙の仕組みとあり方」について学んだ。

私たちのより良い生活や社会福祉の充実、高齢化社会に向けた安心できる社会の実現のためには、租税を中心とする財政政策が重要であり、その政策決定に直に関わる政治家を選ぶ選挙は、最も大切な主権者としての権利であり義務であるということをお招きし、詳しく学んだ。

主権者教育の内容		
ステップ①	選挙制度について	「佐伯市」を例にして、税金の使い途を決める政治家を選ぶ選挙について学ぼう。
ステップ②	グループワーク	「若者の投票率」を上げるためにアイデアを出そう！
ステップ③	模擬投票	「投票から開票まで」を体験しよう。
まとめ		※アイデア使用权を佐伯市に委譲する。



令和元年度（平成31年度）総合的な学習の時間 中学校1学年年間指導計画（年間50時間） 直川中学校第1学年

- 1 主題名 「地域と人の生き方をろう」
- 2 活動内容 ・地域の産業調べ ・林業体験学習 ・地域おこしプレゼン
- 3 活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展 開	【最終課題】 直川の地域おこしをプレゼンしよう ～「林業体験から地域おこしを考える」～										
	資料や講話から地域おこしを考える(12時間)			林業体験から地域おこしを考える(26時間)					地域おこしをプレゼンで提案する(12時間)		
	<p>〈目標〉林業体験講師の講話をもとに、直川地区の産業や地域の活性化などの地域おこしを考えることができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・意見表明 ③他者の理解・地域への関わり</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①班ごとにテーマを設定し地域について調べる(3時間) ・班ごとに歴史、文化、産業などのテーマにそって調べる</p> <p>②林業(直見杉)に関する講話を聞く(1時間)</p> <p>③講師の講話をもとに、直川地区の産業や地域の活性化などの地域興しについて意見を出し合う(3時間)</p> <p>④思考ツールの活用法を知り考えをまとめていく(2時間)</p> <p>⑤ICT機器の活用法を知る(3時間)</p>			<p>〈目標〉体験や調査を通して地域の産業について理解を深め、意見交換を通して直川の地域おこしについて考えることができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②意見表明 ③地域への関わり</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①林業の現場で講師より指導を受ける(4時間)</p> <p>②木材加工の体験をする(4時間)</p> <p>③林業体験をもとに、地域の産業に関連させて地域おこしの方法を考える(3時間)</p> <p>④林業の出荷量や従事する人数などを調べ、文章や図、グラフにまとめる(3時間)</p> <p>⑤図書館やインターネットで地域おこしの事例を探し参考にする(2時間)</p> <p>⑥思考ツールを用いて考えを出し合いまとめていく(2時間)</p> <p>⑦地域おこしのアイデアをまとめ、文化祭で展示(4時間)</p> <p>⑧ICT機器の活用とプレゼンの方法を学ぶ(4時間)</p>					<p>〈目標〉1年間かけて学んできたことを論理立てて堂々と発表できる</p> <p>〈付けたい力〉①情報収集・整理分析・まとめ表現 ②自己理解・将来設計力・意見表明 ③他者の理解・コミュニケーション</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①中間発表を発展させてプレゼンづくりを進める(8時間)</p> <p>②模擬発表を行い意見交換(1時間)</p> <p>③意見交換をもとに修正する(1時間)</p> <p>④班ごとに発表する(1時間)</p> <p>⑤自分の考えをまとめる(1時間)</p> <p>・プレゼンを見て感じたことや意見交換したことをもとに自分の考えをポートフォリオにまとめる</p>		
教科等関連	社会科地理分野全般 道徳「かけがえのない郷土」「集団生活の向上」			国語「調べたことを報告しよう」 理科「植物の体のつくりとはたらき」 技術家庭科「情報を生活に役立てよう」							
<p>《思考ツール》 ①イメージマップ(アイディアを出す、広げる、関係づける) ②KJ法(類型化する、広げる) ③マトリックス(分類する、整理する、比較する) ④ベン図(比較する・分類する) ⑤YXチャート(多面的に見る、アイディアを出す、焦点化する) ⑥座標軸(比較する、分類する、位置づける、整理する)</p>											

令和元年度（平成31年度）総合的な学習の時間 中学校2学年年間指導計画（年間70時間） 直川中学校第2学年

- 1 主題名 「人の生き方に学び、自分の将来の姿を描こう」
- 2 活動内容 ・人の生き方と職業調べ ・佐伯市内企業訪問 ・職場体験学習 ・日本の伝統文化と継承について自主研修 ・青雲式～立志
- 3 活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	【最終課題】 人の生き方についてプレゼンしよう ～「職業と人の生き方から自分の将来を考える」～										
	職業について調べ、働くことの意義や課題を知る(15時間)				職業体験や伝統文化の学習から人の生き方を考える(37時間)				人の生き方について発表する(18時間)		
展 開	<p>〈目標〉職業について考え、自分の将来の姿を描くとともに班で選んだ職業について調べ発表することができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・意見表明 ③他者の理解・地域への関わり</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①インターネットを活用して職業について学ぶ（4時間） ・いろいろな職業の種類や意義について学ぶ ・班で職業を選び、職業の特色やその職業を代表する人の体験談、必要な資格、学歴、経験等について調べる。</p> <p>②地域の産業や文化について学ぶ（1時間） ・直川地区の歴史、文化、産業について学ぶ</p> <p>③佐伯市内企業訪問（6時間） ・身近な職業人から講話を聞き、その職業に就いた動機ややりがい、生き方についてまとめる</p> <p>④中間発表のまとめ（4時間） ・職業について学んできたことをポートフォリオやポスターセッションにまとめ、中間発表を行う</p>				<p>◆「職業体験学習から生き方を学ぶ」(20時間)</p> <p>〈目標〉職場での体験を通して職業の意義を学ぶことができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②自己理解・将来設計力・行動力 ③他者への理解、協調</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①職場でのマナーや言葉遣い、連絡の取り方等を学ぶ(1時間)</p> <p>②職場体験をする(16時間)</p> <p>③職場体験新聞を作成して文化祭で発表する。(3時間)</p> <p>◆「日本の伝統文化から学ぶ」(17時間)</p> <p>〈目標〉文化財の価値と歴史的背景を理解し、文化財や伝統文化に関連した人物を取り上げて調べ発表することができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現②自己理解・将来設計力・行動力</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①文化財調べ(2時間) ②自主研修(6時間)</p> <p>③自主研修のまとめ(2時間)</p> <p>④文化財に関連した人物の生き方調べ(4時間)</p> <p>⑤ポートフォリオにまとめ文化祭で発表する(3時間)</p>				<p>〈目標〉人の生き方をテーマとして、学んできた人の生き方について意見交換しプレゼンで発表することができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②意見表明 ③他者への理解</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①上級学校しらべを行い、発表原稿を書き、発表を行う(8時間)</p> <p>②「いのちの授業」で生命の尊さについて学ぶ(2時間)</p> <p>④プレゼンソフトを使いワークシートに青雲式で発表する内容を整理する(6時間)</p> <p>⑤青雲式(2時間)</p>		
	<p>・道徳「かけがえのない郷土」「ふるさとを守る」</p> <p>・進路指導「職業について考えよう」「いろいろな職業」</p> <p>・国語「調べたことを報告しよう」</p> <p>・技術家庭科「情報を生活に役立てよう」</p>				<p>・進路指導「職業について考えよう」「いろいろな職業」 ・道徳「礼儀・適切な言動」</p> <p>・国語「調べたことを報告しよう」 ・技術家庭科「情報を生活に役立てよう」</p> <p>・社会科歴史分野全般 ・美術科日本の文化財 ・保健体育「性とどう向き合うか」</p> <p>・道徳「男女の交際」「いのち」</p>						
<p>《思考ツール》 ①イメージマップ（アイデアを出す、広げる、関係づける） ②KJ法（類型化する、広げる） ③マトリックス（分類する、整理する、比較する） ④ベン図（比較する・分類する） ⑤YXチャート（多面的に見る、アイデアを出す、焦点化する） ⑥座標軸（比較する、分類する、位置づける、整理する）</p>											

令和元年度（平成31年度）総合的な学習の時間 中学校3学年年間指導計画（年間70時間） 直川中学校第3学年

- 1 主題名 「グローバルな視点から地域・世界・自分の生き方について考えよう」
- 2 活動内容 ・「直川塾」講話Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・直川の歴史・文化・産業調べ・福祉体験学習・APU学生との国際交流学習・卒論プレゼン
- 3 活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	【最終課題】 卒論プレゼンをしよう ～直川のこれからを考え、自分の未来設計図を描こう～										
展 開	「直川に生きる人に学び、進路について考える」(25時間)			「地域の内外の社会に目を向け生き方を考えよう」(27時間)			「卒論プレゼンをしよう」(18時間)				
	<p>◆「進路について考える」(5時間)</p> <p>〈目標〉義務教育最後の一年間であることを自覚し、受験までの自分のあり方について考える。</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・行動力・意見表明</p> <p>◆「直川に生きる人に学ぶ」(10時間)</p> <p>〈目標〉資料や講話を通して直川地区の歩みを知り、直川のこれからのについて考えることができる。</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・行動力・意見表明</p> <p>①「直川村史」等による学習(1) ②「直川塾」講話による学習(8) ・直川塾Ⅰ：直川の歴史と文化 ・直川塾Ⅱ：直川の産業と課題 ・直川塾Ⅲ：21世紀の直川の挑戦 ③模造紙などにまとめて発表(1)</p> <p>◆「福祉施設から学ぶ」(10時間)</p> <p>〈目標〉福祉体験学習を通して高齢者に温かく接し、社会福祉の視点を養うことができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集②行動力③他者理解</p> <p>〈学習展開〉①事前学習(1) ②高齢者施設を訪問し介護を体験する(6) ③高齢者介護について意見をまとめる(1)</p>			<p>◆「高校体験入学の情報交換をしよう」(10時間)</p> <p>〈目標〉友だちや先輩の体験から色々な上級学校について知り、進路について考える。</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・行動力・意見表明</p> <p>① 体験入学の情報や感想をパワーポイントでまとめる。(5) ② プレゼン発表(2) ③ 昨年度卒業した先輩の話聞こう。(3)</p> <p>◆直川の内外の社会に目を向けよう。(11)</p> <p>〈目標〉国際交流や大学訪問の体験を通して自分の考えを持ち、学び合うことができる。</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現 ②将来設計力・行動力・意見表明 ③地域への関わり</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>① 訪問準備(1) ② APU学生との国際交流(5) ③ APU学生との国際交流のまとめ(1) ④ JRC講演(2) ⑤ 地域の産業について考え行動する(2) ⑥ グローバルに生きる人に学ぶ。(5) ・直川地区で活動している人と一緒に活動する。 ⑦ まとめ(1)</p>			<p>〈目標〉地域や世界について学んだことをもとに、私たちにできることは何か展望を持ってプレゼンテーションすることができる</p> <p>〈付けたい力〉①課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現②将来設計力・行動力・意見表明 ③地域への関わり</p> <p>〈学習展開〉</p> <p>①いのちの授業(4) ・生命の尊さと生き方考えさせる ②未来設計図を描こう(2) ・卒業後や将来の自分の生き方について考える。 ③卒論プレゼン(8) ・プレゼンソフトによるまとめ ・期末PTAで保護者・振興局の方などの前で「卒論プレゼン」 ④感謝の思いを表そう。(2) ・お世話になったおうちの方や地区の方に感謝の思いを伝える。 ⑤巣立ち運動(2)</p>				
教科等関連	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳「郷土のすばらしさ」 ・社会科地理分野全般、公民分野全般 ・国語「調べたことを報告しよう」 ・技術家庭科「情報を生活に役立てよう」 			<ul style="list-style-type: none"> ・社会「持続可能な社会をみざして」 ・英語全領域 ・進路指導全領域 ・道徳「ともに生きる」「世界の中で」「ボランティアの心」 ・国語「調べたことを報告しよう」 ・技術家庭科「情報を生活に役立てよう」 ・道徳「男女の交際」「いのち」・保健体育「性とう向き合うか」 							
	<p>《思考ツール》 ①イメージマップ(アイデアを出す、広げる、関係づける) ②KJ法(類型化する、広げる) ③マトリックス(分類する、整理する、比較する) ④ベン図(比較する・分類する) ⑤YXチャート(多面的に見る、アイデアを出す、焦点化する) ⑥座標軸(比較する、分類する、位置づける、整理する)</p>										

第1回租税教室in直川中

【目 的】

第1回租税教室の目的は、まず生徒に馴染みの薄い「租税」について身近に感じさせることである。そのために納税の義務や税金の種類等にはあまりこだわることなく、「豊かで安心した暮らしを実現するために、税金がどのようなものに使われているか」といった税の役割や必要性を中心に学習させることを目的とする。

今後さらに第2回、3回と租税教室を行うことを通して、「財政の役割」を理解させ、納税の義務が意図する公平な税負担の仕組みや税金の使われ方についても理解をすすめさせる。そして、私たちのより良い生活や社会福祉の充実、高齢社会に向けた安心できる社会の実現のためには、租税を中心とする財政政策が重要あり、現行の税制度を学ぶことをは「将来の自分たちの生活や社会」を学ぶことに直結していることを理解させる。

【日 時】 7月11日（水） 13：30～14：30（60分）
多目的室（プロジェクターおよびPC準備）
（生徒イス、講師机イス）

【講 師】 清家大輔さん（南九州税理士会）

【参加生徒】 全校生徒34名（1年12名、2年10名、3年12名）

【日 程】 集合14：25 進行：生徒会
1 はじめのことば・・・・・・・・・・生徒会副会長
2 校長あいさつおよび講師紹介・・・・校長
3 租税教室（40分）
4 質 問（10分）・・・・・・・・各学年（調査PT）
5 お礼のことば・・・・・・・・・・生徒会長
6 おわりのことば・・・・・・・・・・生徒会副会長
（※帰りの学活で事後アンケートを書く）

【教師分担】

- ※特活・総合PT担当
- ①講師および税務署との打ち合わせ・・・・
アンケート作成
 - ②講師紹介・・・・・・・・・・校長
 - ③進行およびお礼の言葉・・・・・・・・3年生徒会
 - ④会場準備片付け・・・・・・・・
 - ⑤記録・・・・・・・・

第2回租税教室in直川中

財政教育プログラム指導演 (佐伯市立直川中学校)

- ・日時 平成30年12月3日(月)10:40～12:30(休憩込 110 分間)
- ・対象 1～3年生 34名
- ・会場 同校 多目的室
- ・講師 財務省九州財務局大分財務事務所職員 梅田 陽佑、古賀 文也
(グループアドバイザー 4名)

(1)当該授業の目的・目標

- ① 財政に関する授業を通じて、社会問題を、他人事ではなく、自ら考えなくてはならない問題だと感じてもらう。その結果、社会問題に関する新聞やテレビのニュース等を見た際に、社会の仕組みや経済財政へより深い関心を持つきっかけとしてもらう。
- ② 財政に関する話し合いやグループワーク(予算編成のシミュレーション「日本村」の予算を作ろう!)を通じて、受益と負担の両面性(=トレード・オフ)を理解し、一面的・断片的な理解ではなく多面的・総合的な見方が重要であることを理解してもらう。
- ③ グループワークにおける話し合いを通じて、多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識してもらうとともに、主権者としての意識付けを行う。

(2)財務局等担当者(講師役、サポート役)の心構え

- 授業の主体は生徒であることを意識し、生徒の発言をできるだけ引き出す。
- グループ内での議論が、一面的・断片的なものとなっていないかといった点に留意し、多面的な見方に向けた問題提起を行う。
- 生徒からの質問については、単純に回答するだけでなく、生徒自身に考えてもらうためのヒントの提示にとどめる等工夫する。また、専門用語等ではなく平易な言葉で回答する。
- 生徒の集中力の持続に配慮する。
- 結論の明示や断定的な表現は避け、財務省の意見の押し付けと受け取られることのないように留意する。
- 家庭環境や思想・信条に関わる議論や例示は避ける。

※ 本プログラムは学校関係者、財務省とともに作り上げるものであり、事前の調整をしっかりと行う。

(3) 事前の準備

- 当日のグループワークでの議論をスムーズに実施するため、大分財務事務所から事前に資料をお送りし、生徒に配付のうえ目を通してもらう。

【事前学習教材】

- ◆ 財政学習教材『日本の「財政」を考えよう』 ※平成30年度版

- グループワーク時の班分けは、事前に済ませておく。

(4) 当日の流れ

別紙1のとおり

(5) 使用教材等

別紙2のとおり

(6) 事後対応

① 関係者による振り返りミーティング

当日の授業終了後、15分程度時間を確保のうえ、学校、大分財務事務所、視察者等による振り返り(反省会)を実施し、今後の財政教育プログラムをより充実したものにするための意見交換を実施する。

② 生徒による「振り返りシート」の記入

授業終了後、生徒の振り返りの時間を確保していただき、「振り返りシート」(別紙3)を記入してもらい、記入済のシートは全員分を学校から大分財務事務所あて送付いただく(プログラム終了後から10日ぐらいを目途に)。

授業進行表(案)

平成30年12月3日(月)10:40~12:30 佐伯市立直川中学校

	時間	項目	生徒の活動	具体的内容	留意事項等 / ※ねらい
開始前	10:40	授業開始のアナウンス (立石先生、宗先生)	資料を持参してグループ 毎に着席 (1班約4人、計10班)		・班分けは事前実施 ・タブレット準備(予備含め財務事務所から12台)
グループワーク	10:45 ~ 11:15 (30)	・「日本村」の 予算を作ろう! 説明 ・グループワーク導入 (講師:梅田・古賀)	聴講 (動画視聴) 資料・タブレットの確認	・財政についての講義 ・グループワークの進行方法説明 ・シミュレーション実施方法説明 ・アドバイザー(補助者)紹介 ・グループワークに向けた補足説明	・アドバイザーは前方に整列 ・資料はスクリーン投影 ・紙ベースでも配布
	11:15 ~ 11:45 (30)	グループワーク 「日本村」の 予算を作ろう!	グループ毎に予算編成 実施	・エクセルシートで予算案作成 (プルダウンで増減等を選択) ・グループワークシートに予算のポイントや 増減の理由を記入	・時間の延長はしない ・アドバイザーは質問への対応等を行う ※受益と負担の両面性(トレード・オフ)を理解する ※多面的な見方が重要であることを理解する
		休憩(10分間)		1億円の重さ体験!	
	11:55 ~ 12:15 (20)	発表・質疑応答 (講師:梅田・古賀)	発表、質疑応答	・2~3班が発表(挙手・なければ指名) ・発表(3分)+他班からの質疑応答(3分) ・生徒から質問がない場合は講師や先生が 質問	・アドバイザーは発表班のタブレットを直接プロジェクター用パ ソコンに接続する ※自らの考えを説明し他者の納得を得るとともに、多様な意見 に耳を傾ける
	12:15 ~ 12:20 (5)	参政権 まとめ (講師:梅田・古賀)	聴講	・社会に対する意思表示は「選挙」を通じて行 うことを説明 ・今後ニュースや新聞で財政に関する報道を 見た際には本日の授業を思い出すようアドバ イス	・資料はスクリーン投影のみ ・時間が無い場合参政権は省略 ※民主主義的過程の重要性を認識する
まとめ					

振り返りシート

()年()組()班 氏名()
 ※なるべく濃く、はっきりと記入してください。

1. 以下の①～⑦の質問項目について、A～Eで答えましょう。
 (A:たいへんそう思う B:そう思う C:変わらない D:あまりそう思わない E:まったくそう思わない)

質問	回答
①授業や課題に積極的に取り組むことができた。	
②授業内容を自分なりに理解することができた。	
③授業のスピードはちょうどよかった。	
④教え方や教材等に工夫が感じられる授業だった。	
⑤財政問題について関心が高まった。	
⑥財政問題に関する知識が身に付いた。	
⑦財政問題について自らの考えを深めることができた。	

2. 日本をよくしていくために、予算について今後どうすればいいと思いますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. この授業で 勉強になったことはどんなことですか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4. 授業の中で むずかしかったことはどんなことですか。

.....

.....

.....

.....

.....

第1回および3回租税教室in直川中

【目的】

第1回租税教室は1学年のみが受講します。まず生徒に馴染みの薄い「租税」について身近に感じさせ、「豊かで安心した暮らしを実現するために、税金がどのようなものに使われているか」といった税の役割や必要性を中心に学習させることを目的とします。

さらに第3回租税教室では、2、3学年のZeroCircleによるグループワークを行い、納税の義務が意図する公平な税負担の仕組みや税金の使われ方について理解を促します。

最後に私たちのより良い生活や社会福祉の充実、高齢社会に向けた安心できる社会の実現のためには、租税を中心とする財政政策が重要あり、現行の税制度を学ぶことは「将来の自分たちの生活や社会」を学ぶことに直結しているということを学習します。

【日時】 7月11日（木）

5限： 1年（租税教室1） PC室 13：30～14：20
6限： 2～3年（租税教室3） 多目的室 14：30～15：20

【講師】 清家大輔さん（南九州税理士会）

【参加生徒】 5限：租税教室1（1年4名と教師4名）
6限：租税教室3（2、3年11名と教師5名）

【日程】

	会場準備
5限集合13：25（PC室）	進行：
1 はじめのことば
2 校長あいさつおよび講師紹介
3 租税教室（40分）	
4 質問（10分） 1学年で準備
5 お礼のことば 1年
6 おわりのことば
	（※帰りの学活で事後アンケートを書く）

	会場準備
6限集合14：25（多目的室）	進行：
1 はじめのことば
2 校長あいさつおよび講師紹介
3 租税教室（40分）	
4 お礼のことば 3年
5 おわりのことば
	（※帰りの学活で事後アンケートを書く）

主権者教育 (第4回租税教室)

【目的】

第4回租税教室は全学年で受講します。今回は「集められた税をどのように使うのか、その使い途を決定する予算に関わる代表者（国会議員や地方議会議員）を選ぶ選挙のしくみとあり方」について学びます。

私たちのより良い生活や社会福祉の充実、高齢社会に向けた安心できる社会の実現のためには、租税を中心とする財政政策が重要あり、その政策決定に直に携わる政治家を選ぶ選挙は最も大切な主権者としての権利であり、義務であるということを選挙管理委員会の方をお招きして、詳しく学習します。

【日 時】 令和元年10月21日(月)
多目的室 13:30~15:30

【講 師】 佐伯市選挙管理委員会事務局より
副主幹 高次秀爾

【参加生徒】 全校生徒（ZeroCircleごとに生徒教師とも着席）

【日 程】 5限集合13:15（多目的室）

1 はじめのことば・・・・・・・・・・
2 校長あいさつおよび講師紹介・・・・・・・・

3 主権者教育

① 選挙制度について13:30~14:10（40分）

「佐伯市」を例にして、税金の使い途を決める政治家を選ぶ選挙について学ぼう。

② グループワーク14:10~14:30（20分）

「若者の投票率」を上げるためにアイデアを出そう！

（休憩10分）

※休憩時間中に机を片付け、投票所の形式に配置がえする。

③ 模擬投票 14:40~15:10（30分）

「投票から開票まで」を体験しよう！

※投票は生徒、教師とも投票する。

事務従事者（橋本愛 野々下 小野正 尾形魁）

④ まとめ 15:10~15:20（10分）

※アイデア使用权を佐伯市に委譲する。

4 お礼のことば・・・・・・・・・・

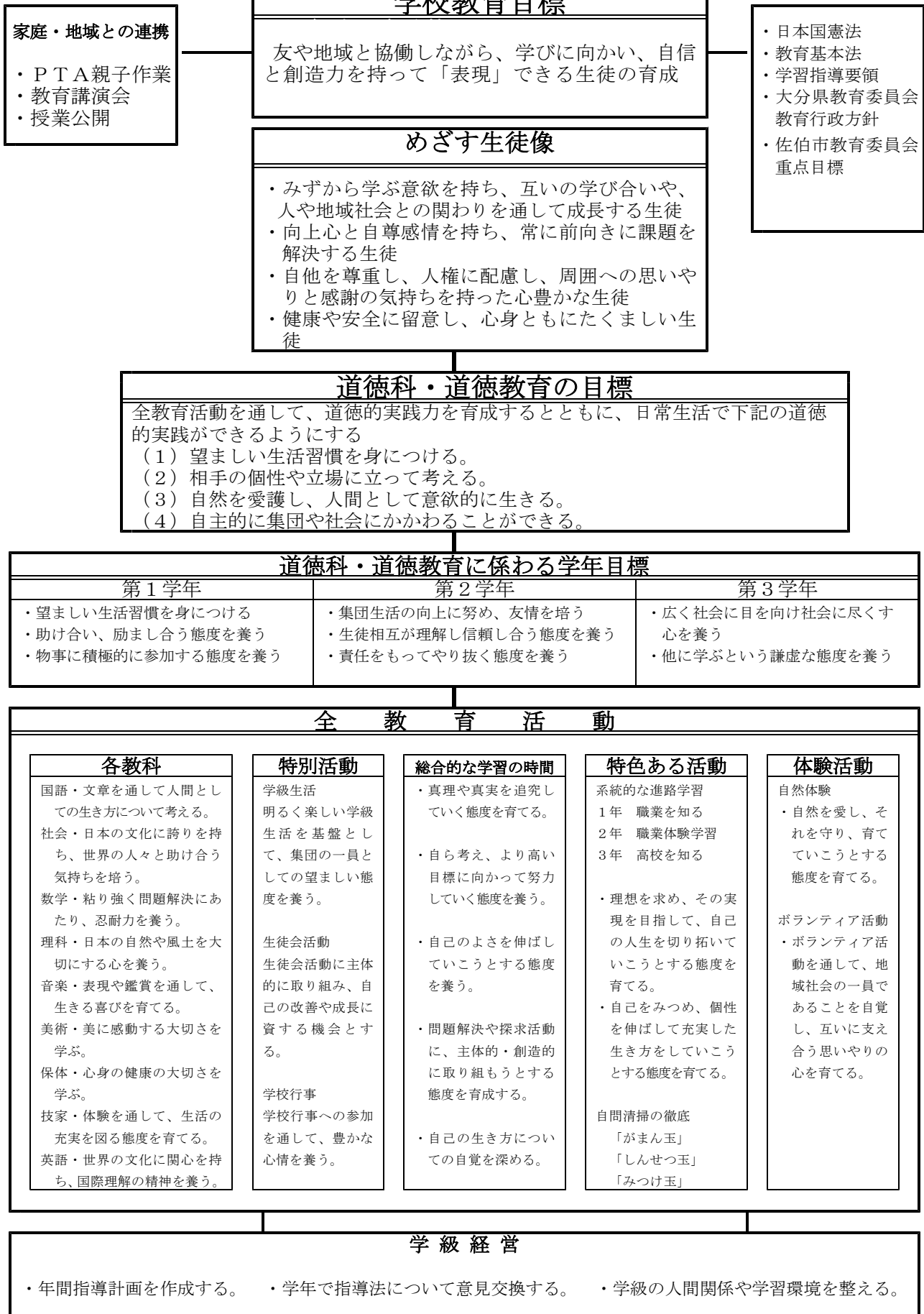
5 おわりのことば・・・・・・・・・・

（※帰りの学活でロイロで感想を書く）

研究の実践

2. 道徳科・道徳教育との関連

- (1) 道徳科・道徳教育全体計画
- (2) 租税教育との関連を図った提案授業
- (3) 各学年の年間指導計画（抜粋）



1 年生	道徳科	「租税教育」「総合的な学習の時間」との関連を図る提案授業
------	-----	------------------------------

令和元年6月25日(火)
授業者 小野 恵

- 1, 主題名 社会のきまり 道徳の内容項目 C- (10) 遵法精神・公德心
- 2, 教材名 「ふれあい直売所」 (あすを生きる)
- 3, ねらい きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。

4, 主題設定の理由

(1) 指導内容について

法やきまりは社会に秩序を与えるために人間の知恵が生み出したものであり社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由は保障される。また、遵法精神は公德心によって支えられている。公德心とは、社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にすることである。一人ひとりが公德心をもって日常生活を送ることで、住みよい社会が実現できる。自我が芽生える中学生の時期にこそ、規律ある安定した社会の実現に貢献するため、自らに課せられた遵法の義務を進んで果たそうとする実践意欲を育てたい。

(2) 生徒の実態について

小学校の段階では、法やきまりの意義や、権利を大切に、義務を果たすことの意義について十分学んできている生徒もいれば、そうでない生徒もいる。中学一年生の時期では、「ルールだから守る」と法やきまりを他律的に捉えている生徒も多い。本時では、遵法精神には、「自分を裏切らない」という自尊心と、相手の心情を想像できる思いやりの心関わっていることに気づかせ、進んで法やきまりを守ろうとする実践意欲を育てたい。

(3) 教材について

主人公「私」は、育てたい野菜の一部を無人直売所で販売することに生きがいを感じている。しかし、不正をされて経営が成り立たなくなった直売所の話が妹から聞かされ、心の中に不安が生じる。そんな折にふと耳にした、直売所を利用するある親子の会話により、今後も直売所を続ける決意をする。無人直売所は売り手と買い手との信頼関係で成り立っている。そんな直売所が成り立つこの土地が好きだという「私」に共感させることで、主体的によりよい社会を作ろうとする意欲を高められる教材である。

○各学年の「租税教育」の目標

各学年の租税教育の目標	
1 学年 知識	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。
2 学年 態度	税について興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会の貢献できる態度を養う。
3 学年 表現	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者とし最善策を創造し、発信し、表現する主体的な態度を養う。

○「総合的な学習の時間」との関連

1 学年の「総合的な学習の時間」では、「地域と人の生き方を知ろう」を目標とし『林業体験から直川の地域おこしを考える』ことから、林業従事者の講話や林業体験を通して、職業(進路)への意識を高めるとともに、働く姿にふれ勤労への思い等を聞き取るなど『情報の収集』『整理分析』までの探究過程を踏まえていく。『まとめ・表現する』活動では、ポートフォリオを作成し文化祭で展示発表に結びつけていく。

5, 本時のねらい

社会のきまりについて、「私」のもやもやした気持ちが一気に晴れた理由を考える活動を通し、意義を理解し進んで守ろうとする実践的意欲を高めることができる。

6, 本時の展開

学 習 内 容	主な発問と予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点
1. 無人直売所の写真を見て考える。	発問①この写真は何だろう。 ・野菜を売っているところ ・人のいない野菜の店。 ・無人直売所だ。	5分	写真
2. 教材「ふれあい直売所」を読み考える。	○資料を読む。 発問②「私」はどのような思いで直売所に野菜を出しているのだろう。 ・自分の作った野菜を多くの人に食べて欲しい。 ・野菜のおいしさを知って欲しい。 ・お客さんに喜んで欲しい。	5分 5分 10分	心情円盤
	発問③妹と「私」のどちらに共感するか ・利用してくれる人を疑うのは良くない。 ・不正は嫌だ。 発問④妹の言葉にもやもやしたのはなぜだろう。 ・信じたいけど、妹が言うことにも一理ある。	10分	
発問⑤「私」のもやもやした気持ちが一気に晴れたのはどうしてだろう。			
個人→ペア→一斉	かったから。 ・やっぱり利用してくれている人を信じようと思ったから。 ・直売所が成り立つ自分の地域が誇らしく思えたから。		教科書 ロイロノート
個人→ペア→一斉	発問⑥よりよい社会を実現していくために、どんなことを大切にしていけばよいだろう ・相手のことを考えてきまりやマナーを守ること。 ・誰も見ていないからとか自分一人くらいといった考えをなくすこと。 ・自分にとって気持ちの良い社会を実現するためには自分もきちんときまりを守らなければいけない。		ロイロノート
3 今日学習を振り返る。	学習を通して授業の前と今の考えを比べてみよう。	5分	ロイロノート

2年生	道徳科	「租税教育」「総合的な学習の時間」との関連を図る提案授業
-----	-----	------------------------------

令和元年6月17日(月)
授業者 野崎 紋子

- 1, 主題名 規則の役割 道徳の内容項目 C- (10) 遵法精神・公德心
- 2, 教材名 「美しい鳥取砂丘」 (あすを生きる)
- 3, ねらい 互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
- 4, 主題設定の理由

(1) 指導内容について

社会があれば何らかのきまりが生まれる。民主的な社会においては、互いの権利を守り、調和的な生活を保障するために、公平な立場の議会や国会が規則や法を定める。

そして、それらを守ろうとする遵法精神は、社会生活の中で守るべき正しい道である公德を大切にすることによって生み出される。したがって、社会は、より民意を大切にされた法とそれを守ろうとする善良な市民の協調によって成り立っているのである。

(2) 生徒の実態について

中学校の段階では、調和した社会生活には、法やきまりが大切であることを理解するものの、法やきまりを他律的に捉え、自己の自由や権利を束縛するものとの意識も見られる。法やきまりが、互いの自由や権利を保障し合うものであるとの認識をもち、それらへの反発の中に、自己への甘えや他者への無配慮が潜んではいないか、今一度、自分自身の行動を振り返ってみる機会をもつことが大切である。

(3) 教材について

国の天然記念物に指定されている鳥取砂丘に、景観を損ねるような落書きが頻繁になされている現状がある。落書きに出くわした主人公「私」の家族が、どうしたら落書きをなくせるのだろうと考えたとき、すでに、落書きを規制する条例があることを知る。しかし、条例ができて落書きがなくなるという現状をとおして、生徒が対応を考えるなかで、法や公德心について話し合うのに適した教材である。

○各学年の「租税教育」の目標

各学年の租税教育の目標	
1学年 知識	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。
2学年 態度	税について興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会の貢献できる態度を養う。
3学年 表現	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者として最善策を創造し、発信し、表現する主体的な態度を養う。

○「総合的な学習の時間」との関連

2学年の「総合的な学習の時間」では、「人の生き方に学び、自分の将来の姿を描こう」を目標とし『地域の現状やそれを継承する人々の工夫や努力を知る』ことから、自分の将来を考え、職場訪問や職業体験、インタビュー活動などを通して『情報の収集』『整理分析』までの探究過程を踏まえていく。『まとめ・表現する』活動では、学び考えたことを後輩達や保護者に向けてプレゼン発表することに結びつけていく。

5. 本時のねらい

「落書きの問題を解決するためにはどうしたらよいか」という課題について、グループ内でお互いの意見を出し合い議論する活動を通して、何によって自己をコントロールできるのかを考えさせ、規則の意義や役割について気づかせることができる。

6. 本時の展開

学習内容	主な発問と予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点
1. 教材に対して関心をもつ	○数枚の写真を掲示する。 【発問①】鳥取砂丘では、なぜ落書きが問題となっているのだろう <生徒の反応> ・美しい砂丘を見に来たのに、落書きがあつたらがっかりする。 ・いくら注意してもなくなるから。	5分	・写真数枚 ・ワークシート
2. 教材を読み、考える。	【発問②】落書きをしている人はどんな気持ちで落書きをしているのだろう <生徒の反応> ・自分たちが楽しくなり勢いでやってしまう。 ・砂であっても天然記念物はみんなのものだという意識がない。 ・砂だから元に戻ると思っている。 ○人には、自分の欲求に負け、勝手な振る舞いで人に迷惑をかえることがあること、とくに、群れることでそれが助長されることを自覚させたい。しかし、公共の場での行動には、制約もあることを考えさせるとともに、自然保護への意識も高める。	5分	
3. 問題について考え、議論する。 ①個人で考える 5分 ②グループでまとめる 15分 ③全体で交流する。 10分	【発問③】落書きの問題を解決するためにどうしたらよいか <生徒の反応> ・観光客の1人ひとりに呼びかける。 ・普段から学校などで自然保護を具体的に教える。 ・自然を勝手に壊したり、傷つけたりしないようにする。 ・大切な自然は、私たちが保護して残す責任がある。 ○罰金の額や厳しい罰則だけで減らすことができるのかを考えさせる。また、1人ひとりが自然を大切にしよう心がけるなどの精神論だけでは解決が難しいことも押さえる。 ○具体的には、アサーション的なフレーズで宣伝したり、ネットなどで呼びかけたりするなどの工夫も必要となる。1人ひとりの責任感やモラルを高めるための実効性のある考えを引き出す。	30分	・ロイロノートのシンキングツール
4. 今日の学習を振り返る。	【発問④】よりよい規則とはどんなものだと思うか ○多くの人に納得されて、少し厳しくてもみんなを守ろうという意識が高まる内容とは何か考えさせる。	10分	

3年生	道徳科	「租税教育」「総合的な学習の時間」との関連を図る提案授業
-----	-----	------------------------------

令和元年6月20日(木)
授業者 戸高 文世

1. 主題名 ともに生きる社会の実現 道徳の内容項目 C- (1 2) 社会参画, 公共の精神
2. 教材名 「No Charity, But a chance !」 (あすを生きる)
3. ねらい 自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。
4. 主題設定の理由

(1) 指導内容について

私たちが生活する社会をよりよいものにしていくには、他人任せにするのではなく、自ら主体的に参画して、社会的な役割と責任を果たすことが大切である。人との関わりが希薄になっているといわれているが、人と人との温かなつながり合いがよりよい社会の実現に欠かせないということを実感して、社会を構成する多くの人々と助け合いながら社会連帯を深めることが必要であると気づかせたい。

(2) 生徒の実態について

中学生の時期は、世の中の体制に不満や批判を持ち始めるが、時としてそれは自分勝手な言動になったり、他を傷つけることにもなる。しかし、そのような自分を肯定しているわけではなく、内心ではよりよい社会を実現したいと切実に考えている。その部分を揺り動かすことでよりよい民主的な社会を実現するために、自分はどのようにして社会に参画し、社会全体の利益のために尽くせるかという前向きな気持ちを引き出すことができる。

(3) 教材について

「日本の障害者福祉の父」と呼ばれた主人公・中村裕医師が、障害者の自律に向けて、障害者スポーツと働く機会をつくることにかけての人生を描いたものである。障害者は「保護すべき者」という考え方の残っていた日本に障害者スポーツを取り入れ、社会的認知も高めていった。しかし、真の自律には「働く」ことが重要だと気づかされ、困難を乗り越えて、働く場所や機会を提供し、生きる喜びと自信を与え続けた医師の姿から、社会に主体的に参画して、よりよい社会を構成しようとする意欲を育てるのに適した教材である。

○各学年の「租税教育」の目標

各学年の租税教育の目標	
1学年 知識	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かしていこうとする態度を養う。
2学年 態度	税について興味関心を高め、その有効利用についての知識や情報を活用して、自主的に社会の貢献できる態度を養う。
3学年 表現	税について興味関心を広げ、持続可能な社会の形成者とし最善策を創造し、発信し、表現する主体的な態度を養う。

○「総合的な学習の時間」との関連

3学年の「総合的な学習の時間」では、「グローバルな視点から地域・世界・自分の生き方について考えよう」を目標とし、地域や世界について3年間をかけて学んだことから、地域活性化に関わる人々の思いや願いにふれたこと等を通して『情報の収集』『整理分析』までの探究過程を踏まえていく。

『まとめ・表現する』活動では、「私たちにできることは何か」について将来に展望をもって、プレゼンテーションし、地域や保護者、直川塾でお世話になった方々に向けて情報発信する。

5. 本時のねらい

中村医師の障害者に対する考えや働く場所をつくることを行動にうつした生き様や活動を通して、社会をよりよいものにしていくために自分たちはどのように社会に参画し、役割と責任を果たすべきか考えることができる。

6. 本時の展開

学 習 内 容	主な発問と予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点
1 車いすマラソンやパラリンピックについて知っていることを出し合う。	○大分国際車いすマラソン ○車いすバスケットボール ○大分出身の陸上選手	3	・画像
2 教材「No Charity, But a chance!」を読み、考える。 発問① 中村医師はイギリスの病院で何に気づいたのだろう。 発問② 中村医師は外国人選手からどのようなことを学んだのだろう。 発問③ 働く場所を作ろうと決意した中村医師の想いを考えよう。 発問④ 中村医師は、どんな気持ちから「彼らの生きがいを失わせてはいけない。」と考えたのだろう。	○「手術よりスポーツ」リハビリテーションが社会復帰の根元 ○スポーツは有効な治療法 ○障害者は保護すべきという考えを改めるべき ○働くことが自律につながる ○働くことで生き生きとした表情に	10 3 3 3 8	
社会の中で生きる自信と喜びとは何だろう。（中村医師の生き方に学ぶ） ＊ロイロのシンキングツールを使う （検索ワード） 太陽の家 国際車いすマラソン大会など			
まとめ 各3グループの意見を発表する。	○強い信念「No Charity, but a chance」 ○人任せにしない。自分のできる限りのことをやってみよう ○自らの力で社会に参画している自覚を持った人々を失望させたくない。 ○働くことで生きる自信と喜びをもった人々の気持ちを大切にしたい。 ○シンキングツールを使い話し合う ○班ごとに発表する。	10 10	・ノート ・グループで話し合う ・タブレット

道徳科年間指導計画 第1学年

学校の教育目標 1.自ら考え進んで行動する。 2.互いに理解し助け合う。 3.よく学び美しい心を養う。

学年の重点項目 ・助け合い励まし合う態度を養う。 ・物事に積極的に参加する意欲を養う。 ・自然と親しみ心情を養う。

【一部抜粋】

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (◆ねらいについて、◇指導方法について)	
4月 (3時間)	自問清掃	A-(1) 自主、自律、自由と責任	より高い目標をめざして	・「自分はこれで良いのか」を自分に問いかけ、自分で考え、自分で清掃を行う。 ・清掃を通じて、自分の心を磨く。心を成長させる時間である。	○3つの心について質問を交えながらスライドをすすめる。 ①意志(我慢をしたり、やる気を出す力) ②創造(工夫して考え出す力) ③情操(人の気持ちを考えたり、心を豊かにできる力) ●がまん清掃 ●見つけ清掃 ●親切清掃 ◎今までの自分の清掃の姿と比べ、どうしようと感じたか。	◆スライドや発問などから、これからの清掃のあり方を考え、今までと違った清掃をしようと考えさせることができたか。 ◇今年度の清掃の目的や方法を全校一斉に統一して知らせることができたか。	総合的な学習の時間
	2 サッカーの漫画を描きたい	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	困難を乗り越える力	目標に向かって、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。	○日常生活のほんの小さな目標であっても、それが達成できて満足した経験はないか。 ○きっかけは何であれ、将来の目標を決めた高橋さんはどんな気持ちだっただろう。 ○漫画家への道は順調に進んだのだろうか。 ◎漫画を描くうえでさまざまな困難にも負けず、高橋さんはなぜ努力できたのだろう。 ○努力は簡単にできることだろうか。努力をするために大切なことはなんだろう。	◆困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く強い意志の大切さに気づき、自分の生活の中で目標をもって取り組もうとする意欲的な意見や記述が見られたか。 ◇発問構成によって、自分のこととして深く考えさせることができたか。	美術、保健体育、総合的な学習の時間
	3 人のフリみて	B-(6) 思いやり、感謝	言葉のもつ不思議な力	日々の生活の中で自分を支えてくれる多くの善意や思いやりに気づき、自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする態度を育てる。	○最近、誰かに「ありがとう。」と言った経験はあるか。 ○皆が「ありがとう。」と言うとき、どんな思いから言っているのだろう。 ○自分はお金を払っていて、相手も仕事であるのに、わざわざ「ありがとう。」を伝えるのはなぜだろう。 ○自分に向けた「ありがとう。」ではないのに、筆者が爽やかな気持ちになったり、まねしたいと思ったりしたのはなぜだろう。 ◎「ありがとう。」の言葉は、私たちにどんな不思議な力を与えてくれるだろう。 ○「ありがとう。」の気持ちを家族などの周りの人にどうやって伝えたらよいだろう。	◆自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づき、それを当たり前と思わないことや、感謝の気持ちを素直に表現することが大切であるといった発言や記述が見られたか。 ◇発問や板書から、多面的・多角的な思考をもとに道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めさせることができたか。	国語、総合的な学習の時間
5月 (3時間)	4 「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7) 礼儀	礼儀の心	あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時・場所・場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	○あいさつをするとき、気をつけていることはあるか。 ○「あいさつの有無でずいぶん気分が変わる」のはどうしてだろう。 ○「あいさつって、言葉のスキンシップになるんです。」ということについて、あなたはと思うだろう。 ○二人組になって、「おはようございます。」と言ってみよう。次のように言ったとき、言われた人はどんな気持ちか伝え合おう(笑顔で言ったとき、ムツとして言ったとき。) ○「おはようございます。」のあとに、どんなことを言えばよいか考えて、みんなの前で演技をしてみよう。 ◎それを見て意見を交流し、あいさつの大切さについて、もう一度考えてみよう。 ○あいさつについて、これからどんなことを大切にしていきたいか、まとめてみよう。	◆あいさつが、人間関係や社会生活を円滑にするものであることを理解し、時、場所、場面に合った言動をしようとする発表や記述が見られたか。 ◇発問構成や体験的な活動によって、あいさつの大切さについて考えさせ、主体的にあいさつをしようとする態度を育てることができたか。	国語、特別活動
	5 さかなのなみだ	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめのない集団	同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。	○学級の中でいじめが起きていたら、あなたは思うか。 ○「小さな学校やせまい社会のなかにもいじめがある」とあるが、あなたはそれをどう思うか。 ○「ほっとした表情」とあるが、いじめられていた子はどんな気持ちになったのだろう。 ◎さかなクンが、中学生のときいじめに接した経験から考えたことは、どんなことだろう。 ○いじめのない集団をめざして、さかなクンの生き方からどんなことを学べるだろう。	◆人間としてよりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりをせず、積極的に正義や公正を実現しようとする発言や記述が見られたか。 ◇話し合いや発問などから、いじめの問題を多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	特別活動

	6	近くにいた友	B-(8) 友情, 信頼	心から信頼できる友達	互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。	○あなたにとって、友達はどんな存在か。 ○オサムは、家に帰って携帯電話のメールを見たとき、どんなことを考えただろう。 ○オサムが信也に寄ってきた場面で、ロールプレイをしよう。次のセリフのあとに、二人がなんと言うかを考えよう。 ○ロールプレイをした人に、インタビューをしよう。 ○ロールプレイを見ていた人も、感じたことを言おう。 ◎雄一から話を聞いたオサムは、信也の家に向かう途中、どんなことを考えていただろう。 ○自分が誰かにとっての「本当の友達」になるためには、どんなことが必要だろう。	◆互いに心から信頼できる友情を築こうとすることやいっそう友達を大切にしたいという記述が見られたか。 ◇体験的な活動をとおして、心から信頼できる友情とは何かを深く考えさせることができたか。	技術・家庭、特別活動
6月 (4時間)	7	トマトとメロン	A-(3) 向上心, 個性の伸長	みんな同じがよいのか	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。	○なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのか。 ○「いのちを百点満点に生きる」とはどういうことを言っているか。 ◎この詩をとおして、相田さんは私たちにどうしたらよいと言っているのだろう。 ○自分のよいところを生かして生きるためには、どんなことが大切だろう。	◆発言や道徳ノートの記述から、自己を見つめ、自らのよさに気付き、これからの生き方の中でそれを伸ばしていこうとする気持ちを持ち、また、自らの実感を振り返りながら考えを深める様子が見られたか。 ◇相田みつをさんの生き方や考え方を通じて、世間や榮譽に囚われない生き方や自己を磨こうとする意欲を生徒に育むことができたか。	国語、特別活動
		人権標語をつくろう	C-(11) 公正, 公平, 社会正義	人権を守り、差別をなくす	同和問題をはじめとする様々な人権問題の早期解決を図るために「人権を守り差別をなくす」ことを内容とした標語を募集し、標語づくりや標語掲示を通して、生徒の人権意識の高揚をはかる。	○人権とは何か。 ◎人権を守り差別をなくすためにどうしたらいいか。	◆発問から人権の尊さについて自分の立場で考えさせることができたか。 ◇標語作成時に差別をなくすためにどうしたらよいかを考える態度が見られたか。	特別活動
	9	ふれあい直売所	C-(10) 遵法精神, 公徳心	社会のきまり	きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。	○皆がきまりを守るのはどうしてだろう。 ○「私」はどのような思いで直売所に野菜を出しているのだろう。 ○「私」が妹の言葉にもやもやしたのはなぜだろう。 ◎「私」の「もやもやした気持ち」が一気に晴れたのはどうしてだろう。 ○よりよい社会を実現していくために、どんなことを大切にしていけばよいだろう。 ○アンケートに答えたときと今の考えを比べてみよう。	◆よりよい社会の実現のために進んできまりを守ろうとする発言や記述が見られたか。 ◇生徒の課題意識や発言などを肯定的に受容し、生かしながら授業展開できたか。	社会、技術・家庭
	10	あったほうがいい?	C-(12) 社会参画, 公共の精神	よりよい社会のために	身近なゴミ問題を考え話し合うこととおして、社会に尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○ゴミであふれるゴミ箱を見たことや、逆にゴミ箱がなくて困ったことはあるか。 ○ゴミ箱がないことで起こる問題、ゴミ箱があることで起こる問題は何か。誰もが街をきれいにしたいと思っているはずなのに、ゴミ問題が起こるのはなぜだろう。 ○街にゴミ箱を設置したほうがよいか、しないほうがよいか、考えてみよう。 ◎ゴミ問題を解決するためにどうしたらよいか、どんな考え方が大切か話し合おう。	◆身近にあっても解決が一筋縄でない現代的な問題に対し、よりよい社会の実現のために、自分なりに具体的な解決をめざす意欲が発言や記述に見られたか。 ◇主人公の心の迷いを追うのではなく、問題解決に向かう意志や実行力への思いを促す授業構想であったか。	社会、特別活動
7月 (2時間)	11	花火に込めた平和への願い	C-(18) 国際理解, 国際貢献	世界平和のために	国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。	○このアリゾナ記念館は、なぜあるのだろう。 ○どんな気持ちで、ゆかりはホノルルに着いたのだろう。 ○事前学習のとき、ゆかりはどんな思いでいたのだろう。 ○ガイドさんなどと接することで、ゆかりの心はどのように変化してきたのだろう。 ○「未来を見つめて」というガイドさんの話から、ゆかりは、どんなことを考えたのだろう。 ◎日本と世界の平和のために、ゆかりにできることはなんだろう。 ○世界平和のために、自分に何かできることはないか考えてみよう。	◆他国の文化や伝統などを尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などから、ゆかりの気持ちの変化を捉えさせ、国際的視点から、平和の尊さと貢献について考えさせることができたか。	社会、外国語

道徳科年間指導計画 第2学年

学校の教育目標 1.自ら考え進んで行動する。2.互いに理解し助け合う。3.よく学び美しい心を養う。

学年の重点項目 ・生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。・責任をもってやりぬこうとする実践意欲を養う。・自他の生命を大切にしている心情を養う。【一部抜粋】

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (◆ねらいについて、◇指導方法について)	
4月 (3時間)	自問清掃	A-(1) 自主, 自律, 自由と責任	より高い目標をめざして	・「自分はこれで良いのか」を自分に問いかけ、自分で考え、自分で清掃を行う。 ・清掃を通じて、自分の心を磨く。心を成長させる時間である。	○3つの心について質問を交えながらスライドをすすめる。 ①意志(我慢をしたり、やる気を出す力) ②創造(工夫して考え出す力) ③情操(人の気持ちを考えたり、心を豊かにできる力) ●がまん清掃 ●見つけ清掃 ●親切清掃 ◎今までの自分の清掃の姿と比べ、どうしようと感じたか。	◆スライドや発問などから、これからの清掃のあり方を考え、今までと違った清掃をしようと考えさせることができたか。 ◇今年度の清掃の目的や方法を全校一斉に統一して知らせることができたか。	総合的な学習の時間
	1 自分の弱さと戦え	D-(22) よりよく生きる喜び	自分の弱さの克服	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を育む。	○国枝さんが当初、勝てなかったのは、なぜだろうか。 ○クインさんは、なぜ「俺は最強だ！」と叫ばせたのだろう。 ◎国枝さんが世界一になったあと、自分の未熟さに気づいて、さらに自分を変えたのはどう考えたからだろう。 ○自分の弱さを克服するために、どんなことが大切か考えてみよう。	◆自分の弱さや醜さを克服し、強さや気高さに変える気持ちをもとうとする発言や記述が見られたか。 ◇教材をとおして多面的・多角的な視点で議論させることができたか。	保健体育
	3 挨拶は言葉のスキップ	B-(7) 礼儀	心を形に	心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気づき、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。	○「私」はどのように職場体験学習に積極的になれなかったのか。また、「私」はどんな気持ちで職場体験学習に臨んでいたのだろう。 ○店長さんに「お客様にどんなときに喜んでもらったの？」と聞かれ、なぜ「私」は答えることができなかったのだろう。 ◎店長さんが「私」たち二人に伝えたかったのは、どんな思いだろう。 ○心のかもった挨拶をすることがなぜ大切なのだろう。自分の経験を思い出しながら考えてみよう。 ○「おはよう。」や「いただきます。」などの短い挨拶に込められている心を考えてみよう。	◆礼儀が、相手を尊重し敬愛する気持ちにつながり、コミュニケーションの基本になることを理解し、「…の気持ちで挨拶したい。」「形式だけの挨拶にならないように気をつける。」のような今後の実践につながる前向きな言葉が見られたか。 ◇普段の自分の挨拶を振り返り、礼儀の意義について深く考えさせることができたか。	国語、総合的な学習の時間
5月 (3時間)	最後のパートナー	D-(19) 生命の尊さ	支え合う生命	命がかがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。	○盲導犬はどのように育てられるか、知っているか。 ○「死ぬとわかっている犬をなぜ預かるの。」と尋ねられたとき、西田さんはどんなことを考えたのだろう。 ○西田さんは、松尾さんの手紙からどんな気持ちを受け取ったのだろう。 ◎「もう、引退犬には関わりたくない。」と思っていた西田さんが、ボランティアを続けていこうと思ったのは、なぜだろうか。 ○支え合う生命について、考えたことをまとめてみよう。	◆周りの人たちが動植物がお互いに支え合っているといった命の尊さに関する意見や記述が見られたか。 ◇命の尊さ、命のつながりや支え合い、人間や動植物なども同じ命であるということ、教材提示や発問によって多面的・多角的に考えさせることができたか。	理科、総合的な学習の時間
	「自分」を諦めない。立ち上がった瞬間が自信になる	A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志	諦めない心	自らを信じ希望をもって、困難や失敗などの逆境を乗り越え、目標に向かって努力し続けようとする態度を養う。	○なぜ、スポーツは人を感動させるのだろうか。 ○ハードル競技に転向してまで臨んだシドニー五輪での失敗のあと、為末さんはどう思っただろう。 ◎為末さんはどうして「何度でも跳んでいいんだよ。」とだけ言うのだろう。 ○自分の生き方に自信がもてるようになるには、どうしたらよいらう。	◆失敗を肯定的に捉える発言や、自らを信じて自信が目標に向かって努力し続ける力となるといった発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などから、筆者の「言葉かけの意味」をさらに深く考えさせることができたか。	保健体育
	6 五月の風—カナ—	A-(1) 自主, 自律, 自由と責任	自分を信じて	自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。	○自分で決めたことなのに、諦めたり、投げやりになったりして、達成できなかったことはあるか。 ○カナは、ロータリーでミカたちを待っているとき、どんな気持ちだっただろう。 ○カナは、その日の夜、部屋で一人になったとき、どんなことを考えていただろう。 ◎カナはペランダにいたとき、次の日ミカに会ってどんなことを伝えようと考えていたのだろう。 ○自主的に考え判断して、誠実に実行するためには、どんなことを大切にすればよいらう。	◆自主的に考え、判断し、誠実に実行することについて、自分なりに考えた発言や記述が見られたか。 ◇登場人物の考え方をとおして、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育てることができたか。	技術・家庭、特別活動

6月 (4時間)	7	五月の風—ミカ—	B-(8) 友情, 信頼	本当の友達	互いに励まし合い, 高め合う 本当の友達をつくらうとする 態度を育てる。	○「五月の風」と聞いて, どんな風をイメージするか。 ○カナが待ち合わせ場所に来られなかったことについて, どんな問題が考 えられるだろう。 ○カナからの電話で, ミカの胸がドキドキして, カナの心細そうな声が耳か ら離れなかったのはなぜだろう。 ○ミカが「私はカナの信頼に答えていない。」と思ったのはなぜなのかを話 し合おう。 ○相手にとって心から信頼できる友達になるためには, どんなことが大切 だと思うか, まとめてみよう。	◆相手にとって心から信頼できる友達とはどん な友達かを考え, よりよい友人関係を築いてい こうとする発言や記述が見られたか。 ◇問題解決的な学習をとおして, 互いに励まし 合い, 高め合う本当の友達について考えさせる ことができたか。	技術・家庭, 特別活動
	人権標語をつくらう		C-(11) 公正, 公平, 社会正義	人権を守り, 差別をなくす	同和問題をはじめとする様々 な人権問題の早期解決を図 るために「人権を守り差別を なくす」ことを内容とした標語 を募集し, 標語づくりや標語 掲示を通して, 生徒の人権意 識の高揚をはかる。	○人権とは何か。 ◎人権を守り差別をなくすためにどうしたらいいか。	◆発問から人権の尊さについて自分の立場で 考えさせることができたか。 ◇標語作成時に差別をなくすためにどうしたらよ いかを考える態度が見られたか。	特別活動
	9	戦争を取材する	A-(5) 真理の探究, 創造	真実を追い 求める	真理や真実を求め, 理想の 実現を目指して, よりよく生き ようとする態度を育てる。	○この写真の人を知っているか。 ○ジャーナリストの仕事を選んだ山本さんに対して, あなたはどう感じた だろう。 ○山本さんが戦場取材を始めたころの悩みは何だろう。 ○息子を亡くした父親の取材をとおして, 山本さんが得た決意は何だ ろう。 ◎山本さんはジャーナリストとしての仕事について, どう思っていたら う。 ◎真実を追い求めようとするとき, どんなことが大切だろう。	◆山本さんの悩みを自分との関わりで考え, 理 想の実現に向かってよりよく生きようとする発言 や記述が見られたか。 ◇発問やワークシートの記入から, よりよく生き ることについて深く考えさせることができたか。	社会, 総合 的な学習の 時間
	10	海と空—椋野の 人々—	C-(18) 国際理解, 国 際貢献	国際社会の 一員	世界の中の日本人としての 自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界 の平和と人類の発展に貢献 しようとする態度を育てる。	○串本町とトルコには, どんなつながりがあるのだろう。 ○「私」がどうしても椋野に行きたかったのは, なぜだろう。 ○エルトゥールル号の人々を救助した椋野の人々の「思い」はどんなも のだったのだろう。 ◎「海と空」をつなぐ水平線と同じように, 二つの救援活動をつなぐもの はなんだろう。 ○国際人として生きていくために, 私たちはどんなことを大切にすればよ いだろう。	◆「同じ人間として他国と尊重し合うことが大切 である。」「国際人としてこんな生き方をしたい。」 といった発言や記述が見られたか。 ◇板書や発問などから教材中の行為や心情に ついて深く考えさせることができたか。感想だけ でなく自分にできることを考えさせることが できたか。	社会
7月 (2時間)	11	美しい鳥取砂丘	C-(10) 遵法精神, 公 徳心	規則の役割	互いに住みよい社会を目指 す精神の大切さを理解し, 調 和と規律を保つための法や きまりを進んで守らうとする 態度を育てる。	○私たちはなぜ, 何を求めて観光をするのだろう。 ○鳥取砂丘では, なぜ落書きが問題となっているのだろう。 ○落書きをしている人は, どんな気持ちで落書きをしているのだろう。 ◎落書きの問題を解決するためにどうしたらよいか, またその理由につ いて発表し合い, どんな考え方が大切か話し合おう。 ○よりよい規則とはどんなものだと思うか, まとめてみよう。	◆社会には, 法やきまりが守られない状況があ るが, 知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善 していこうとする視点での発言や記述が見られ たか。 ◇話し合いを深めるなかで, 「なぜきまりが守ら れないのか, どうすれば少しでもよい方に改善 できるのか。」といった意見を多面的・多角的な	社会, 理科
	12	和樹の夏祭り	C-(16) 郷土の伝統と 文化の尊重, 郷土を愛する 態度	地域の祭り の大切さ	郷土の伝統と文化を大切に し, 地域社会の一員としての 自覚をもって, 進んで郷土の 発展に努めようとする実践意 欲や態度を育てる。	○皆が考える「この町の誇り」とはなんだろう。 ○和樹は, なぜ祭りが大好きなのだろう。 ○地域の夏祭りの中止を聞いて, 和樹はどんなことを考えただろう。 ○「楽しんどのか?」という剛に「それは, こっちのセルフじゃ。」と返した和 樹は, どんなことを考えていただろう。 ◎「俺らの祭り」という一言が, 和樹の心に引っかかったのはなぜだろう。 ○地域の伝統を絶やさないために必要なことはなんだろう。	◆地域社会の一員として, 郷土の発展に努めよ うとする発言や記述があったか。 ◇生徒自身が生活する地域社会を想起させ, そ の中の自己の生き方を考えさせることが できたか。	社会, 特別 活動
	アナザーワールド		C-(10) 遵法精神, 公 徳心	法やきまりの 意義	租税, 納税に対する正しい知 識と理解, 社会に積極的に 参画し, よりよい未来を築い ていこうとする意欲と態度を 育てる。	○税のない世界のアニメを見ることで, 税がない世界ではどんなことが困 るか話し合おう。 ○どんなことに税金が使われているか, 使われるべきかを話し合おう。 ◎租税が私たちの何を支えているのか(民主主義, 基本的人権)まとめよ う。	◆税についての興味関心を広げ, 持続可能な 社会の形成者としての主体的な発言や記述が あったか。 ◇身の回りの税の使い方を考える話し合い活動 で, 多面的・多角的に考えさせることが できたか。	社会

道徳科年間指導計画 第3学年

学校の教育目標 1.自ら考え進んで行動する。 2.互いに理解し助け合う。 3.よく学び美しい心を養う。

学年の重点項目 ・他に学ぶ謙虚な態度を養う。 ・自ら進んで奉仕しようとする実践意欲を養う。 ・いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

【一部抜粋】

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (◆ねらいについて、◇指導方法について)	
4月 (3時間)	自問清掃	A-(1) 自主, 自律, 自由と責任	より高い目標をめざして	・「自分はこれで良いのか」を自分に問いかけ、自分で考え、自分で清掃を行う。 ・清掃を通じて、自分の心を磨く。心を成長させる時間である。	○3つの心について質問を交えながらスライドをすすめる。 ①意志(我慢をしたり、やる気を出す力) ②創造(工夫して考え出す力) ③情操(人の気持ちを考えたり、心を豊かにできる力) ●がまん清掃 ●見つけ清掃 ●親切清掃 ◎今までの自分の清掃の姿と比べ、どうしようと感じたか。	◆スライドや発問などから、これからの清掃のあり方を考え、今までと違った清掃をしようと考えさせることができたか。 ◇今年度の清掃の目的や方法を全校一斉に統一して知らせることができたか。	総合的な学習の時間
	2 風に立つライオン	D-(22) よりよく生きる喜び	人間の気高さ	内なる弱さや向き合い、それを克服することで生きることにより喜びを見出そうとする実践意欲を育てる。	○東アフリカ(ケニア)についてどんなイメージをもっているか。 ○「僕」はアフリカへ旅立つとき、どんな気持ちだったのだろう。また、恋人はどんな気持ちだったのだろう。 ○「僕」の言う「『現在』を生きることには思い上がりたくない」とは、何を意味しているのだろう。 ◎「僕」はなぜ、「風に向かって立つライオンでありたい」と考えたのだろう。 ○あなたが「僕」へメッセージを送るとすると、どんなメッセージになるだろう。	◆人間として生きることには喜びを見いだそうとする実践意欲が発言や記述に見られたか。 ◇問い返しや補助発問で話し合いを活発にすることによって、考え議論する道徳を実現することができたか。	音楽、総合的な学習の時間
	3 出迎え三步, 見送り七歩	B-(7) 礼儀	おもてなしの心	礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対して敬愛する気持ちを自然と態度で示そうとする実践意欲を育てる。	○グループになって、次のことを話し合おう(大切なお客様を玄関で出迎えるとき、どのように出迎えればよいか。お客様が席を立て、玄関から帰るまで、どのように見送ればよいか。) ○①で話し合った、出迎え方を実際に体験し、そのときの思いを言葉にしてみよう。 ○出迎え方を体験したら、見送り方も体験し、そのときの思いを言葉にしてみよう。 ○②と③の役割を入れ替えてやってみよう。 ◎「出迎え三步, 見送り七歩」を読んで、体験したこととあわせて次のことを話し合おう(体験したことと筆者の言う「『もてなし』の極意」とのあいだで「共通していたところ」、「違っていたところ」は、どんなところだったか。お客様と接するとき、どんな心構えが大切か。) ○「もてなし」とはどんなことか、考えたことをまとめてみよう。	◆話し合いや体験中の態度や様子に、相手を敬愛しようとする思いが見られたか。 ◇それぞれの班の話し合いの内容に「おもてなし」の工夫が見られるよう、問い返しの発問などを構成することができたか。	国語、特別活動
5月 (3時間)	1 銀メダルから得たもの	A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志	より高い目標をめざして	より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望・勇気の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。	○吉田選手は、どうして試合が終わったあともマットの上に伏せたままののだろうか。 ○吉田選手は、小さなときからどんな気持ちでレスリングに打ち込んできたのだろうか。 ○道場へやってくる子どもとの出会いで、吉田選手はどのような気持ちに変化したのだろうか。 ◎「金メダルよりも得られるもの」とは、どんなものだろうか。 ○より高い目標をめざすことについて、感じたり学んだりしたことを話し合い、まとめてみよう。	◆目標に向かって諦めずに努力する大切さや、自分に打ち克つ強い意志の重要性を捉えた発言や記述が見られたか。 ◇写真や発問などから、より高い目標を目指すうえでの大切さなどを、生徒自身の経験をもとにした視点から、深く考えさせることができたか。	保健体育
	5 No Charity, but a Chance!	C-(12) 社会参画, 公共の精神	ともに生きる社会の実現	自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。	○中村医師は、イギリスの病院で何に気づいたのだろうか。 ○中村医師は、外国人選手からどのようなことを学んだのだろうか。 ○働く場所を作ろうと決意した中村医師の思いを考えよう。 ◎中村医師は、どんな気持ちから「彼らの生きがいを見失わせてはいけない。」と考えたのだろうか。 ○社会の中で生きる自信と喜びとはなんだろうか。	◆よりよい社会を実現するために自分はどういう貢献ができるのか、実践意欲や態度につながる発言があったか。 ◇中心発問で、ともに生きる社会に自ら進んで参画しようとする中村医師の思いを考えさせることができたか。	社会、保健体育、総合的な学習の時間
	6 一冊のノート	C-(14) 家族愛, 家庭生活の充実	家族への敬愛	一冊のノートに書かれた祖母の苦悩や不安、家族への思いに気付く姿を通して、祖父母への敬愛を深め、家族の一員として慈しむ心情を養う。	○あなたは自分の祖父母のことをどう思っているか。 ○問題集が見つかったときや祖母の手から買い物かごをひったくったときの「僕」は、どんな気持ちだったのだろうか。 ○祖母のノートの最後の空白のページにぼつんとにじんだインクの跡を見て、「僕」はどんな気持ちになっただろうか。 ◎祖母と並んで草取りをする「僕」は、どんなことを考えていたのだろうか。 ○家族みんなの幸せについて、深く考えてみよう。	◆「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安、自分の家族に思いを馳せる発言や記述が見られたか。 ◇問い返しや補助発問から、自分の立場で考えさせることができたか。	技術・家庭

6月 (4時間)	7	卒業文集最後の二行	C-(11) 公正, 公平, 社会正義	いじめを許さない心	いじめの非情さへの理解を深め, 差別や偏見を見抜き, 人間として許されないことを許さない態度を育てる。	<p>○どんなときに楽しいと感じるか。</p> <p>○「私」は, T子さんに対してとった行動をいまだに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろう。問題と考える場面や発言, 行動と, そう考える理由をまとめよう。</p> <p>○T子さんが最後の二行に書いたことには, どんな思いが込められているだろう。</p> <p>◎悪いと思いつながら「私」がT子さんにしてしまったことの中にある, 人間としての問題は何かを話し合ってみよう。</p> <p>○グループで話し合った内容を発表して, 学級全体で「いじめ」の根深さについて考え合おう。</p> <p>○「私」が, 自分の行いを悔いて生きてきたことについて, これからの自分の生き方に照らして考えてみよう。</p>	<p>◆いじめがいかに差別的で人間として許されないものであり, 加害者が相手の痛みは無頓着, 傲慢であることに気づくような発言や記述があったか。</p> <p>◇主人公の心情理解のみでなく, 生徒が自分自身の問題として捉え, 今後の人生に生かしていることとする実践意欲と態度を高められる授業構想であったか。</p>	特別活動
	8	思いを伝えることの難しさ	B-(9) 相互理解, 寛容	互いの思いの伝え方	人間関係を築き相互理解を深めるために, 自分の思いを適切に相手に伝えることについて考え, 相手の思いを素直に取り入れる寛容の心を養う。	<p>○「思いを伝えることの難しさ」を読んだ感想を, 隣どうしで話し合ってみよう。</p> <p>○なぜ, はっきりとした物言いを避ける傾向があるのか考えてみよう。</p> <p>○二人ペアになって, 会話をしてみよう。</p> <p>○二人ペアになって, 同じ場面で, 「微妙」という言葉を使わずに表現してみよう。</p> <p>◎自分の思いを相手に伝えるとき, どんな考え方が大切か話し合おう。</p> <p>○今までの体験や今日の学習を振り返り, 考えたこととまとめてみよう。</p> <p>○人権とは何か。</p> <p>◎人権を守り差別をなくすためにどうしたらいいか。</p>	<p>◆二人ペアの体験的な活動をとおして, 互いに思いを伝えあうときの基本的な考え方や態度に関する発言などが見られたか。</p> <p>◇体験的な活動によって, 実感を伴って深く考えさせることができたか。</p>	国語, 数学, 特別活動
		人権標語をつくろう	C-(11) 公正, 公平, 社会正義	人権を守り, 差別をなくす	同和問題をはじめとする様々な人権問題の早期解決を図るために「人権を守り差別をなくす」ことを内容とした標語を募集し, 標語づくりや標語掲示を通して, 生徒の人権意識の高揚をはかる。	<p>○人権とは何か。</p> <p>◎人権を守り差別をなくすためにどうしたらいいか。</p>	<p>◆発問から人権の尊さについて自分の立場で考えさせることができたか。</p> <p>◇標語作成時に差別をなくすためにどうしたらよいかを考える態度が見られたか。</p>	特別活動
	10	命のトランジットビザ	C-(18) 国際理解, 国際貢献	人類愛, つながる命	国際的視野に立ち, 人類愛について理解を深め, 世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情や態度を育てる。	<p>○天井を見つめ, 深いため息をついた杉原は, どんな思いだっただろう。</p> <p>○許可が出なくても諦めず二度目の電報を送る杉原には, どんな思いがあっただろう。</p> <p>◎「皆さんにビザを発給します。」と叫んだとき, 杉原はどんなことを考えていたのだろう。</p> <p>○世界のどこにいても, 人間として正しいことを行い, 世界平和に力を尽くすためには, 何が大切だろう。</p>	<p>◆ユダヤ人を救おうと決心した杉原千畝をとおして, 世界の平和や人類の幸福を大切に思う発言や記述が見られたか。</p> <p>◇外交官としての職責や家族の安全と, 人種を越えた命の大切さとの間で苦悩する杉原千畝の心の動きをとおして, 多面的・多角的に深く考えさせることができたか。</p>	社会, 外国語, 総合的な学習の時間
7月 (2時間)	11	エリカ—奇跡のいのち—	D-(19) 生命の尊さ	生きていることの奇跡	生命の尊さを理解し, かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う。	<p>○いつ, どこで生まれ, どんな名前かもわからない状況をどう思うか。</p> <p>○母親は, どんな思いでエリカを汽車から外に投げつけたのだろう。</p> <p>○女の人は, なぜ危険を犯してまで, エリカをひきとったのだろう。</p> <p>◎エリカはどんな思いで「わたしのかけがえのないいのちは, いまもかがやいているのです。」と言っているのだろう。</p> <p>○命の連続性について考えてみよう。</p>	<p>◆生かされていることの尊さや生命のつながり, かけがえのない生命を軽々しく扱ってはならないとする態度が, 発言や記述に見られたか。</p> <p>◇母親や育ててくれた女の人の思いと「わたしの星」にかける思いを考えさせることで, 生命の尊さについて深く考えさせることができたか。</p>	社会
	12	新しい夏のはじまり	A-(3) 向上心, 個性の伸長	前向きな生き方	自己を見つめ, これまでの自分を冷静かつ客観的に振り返るとともに, 経験を生かした自分らしい新しい生き方をしようとする態度を育てる。	<p>○体育館に一人で立ちつくしていたとき, 亜樹はどんな気持ちでいただろう。</p> <p>◎亜樹が体育館のとびらを勢よくくめたのは, どんな思いがあったからだろう。</p> <p>○教材から考えたことや友達の見解を聞いて, 友達や後輩に伝えたい今の気持ちを考えてみよう。</p> <p>○努力を無駄にしないため, どのように毎日を送ればよいか具体的な方法を考えてみよう。</p>	<p>◆自分自身を見つめ, 経験を活かした生き方をしようという発言や記述が見られたか。</p> <p>◇やってきたことが無意味だったのではないかと捉えていた主人公が, それに意味を見出そうと心情を変化させたことに気づかせることができたか。</p>	保健体育, 特別活動

え？税金？ ～税に関するアンケート～

①

佐伯市立直川中学校
1年次実施アンケート

()年 名前()

税金について、今のあなたの考えを教えてください。

番号	質 問	回答項目	回答欄
1	家庭で税金に関する話を聞いたり、話したりしたことがありますか？	ア、よくある イ、ときどきある ウ、あまりない エ、ない	
2	税金に関するニュースをテレビや新聞で見たり、聞いたりしたことがありますか？	ア、よくある イ、ときどきある ウ、あまりない エ、ない	
3	税金が役に立っていると思うことがありますか？	ア、よくある イ、ときどきある ウ、あまりない エ、ない	
4	税金を納めることをどのように思いますか？	ア、当然である イ、仕方ない ウ、必要ない	
5	税金は何歳から納めているか知っていますか？	ア、年齢に関係ない イ、18歳以上 ウ、20歳以上 エ、働き始めてから オ、知らない	

その他、税について質問や意見があったら、書いてください。

ご協力ありがとうございました。

その他、税について質問や意見があったら、書いてください。 ※初回実施(2018年6月11日)の「租税アンケート」より

1 学年

- 宝くじで1等が出たら税金は払うんですか？
- 税には、なぜたくさん種類があるのですか？
- もしも税金を納めなかったらどうなるのですか？
- 年金と税金は同じですか？
- 税金をどんなことに使っているのですか？
- 税金の額は、何年かたったら変わるのですか？
- 税金の種類は何個あるのですか？
- 税金は、いつごろできたのですか？
- 働いていなくて、税金を納めなかったら捕まるのですか？
- スーパーも小さな小売店も、税金がついているのですか？
- 家庭で税金のことを話すと、何の得があるのですか？
- 今まで税金がなかったら、日本はどうなっていますか？
- 税金が足りないときがあるのですか？
- 税金を納めることを、嫌がる人がいるのですか？
- 税金に、悪いところがありますか？
- もう少し税金を高くして他の国からの借金を減らしてほしい。
- カナダのように、病院代を税で補ってほしい。
- 税金を払ったら、年金として60歳位になった時返ってくると聞いたことがあるのですが、払った額と同じ額が年金として返ってくるのですか？
- 税金を払わない人は、年金がないのですか？

2 学年

- 年金を払わなかったらどうなるのですか？
- なぜ税金はそんなに高いのですか？
- 税金はもっと安くていいのではないですか？

3 学年

- 消費税はこれからも上がり続けますか？
- 税金って何ですか？
- 一人につき、どれくらい払っているのですか？
- 年齢によって、納める税金に差があるのですか？
- 消費税はどれくらいまで上がっていきそうですか？
- 消費税の、メリットとデメリットを教えてください。
- 消費税はなぜ、高くなっていくのですか？
- 税金で、助けられたことがありますか？



平成30年度 第10号
平成30年10月15日

直中通信

発行：佐伯市立直川中学校

TEL:0972-58-2009

FAX:0972-25-5007

文責：校長 柳井雅子

友や地域と協働しながら 学びに向かい、自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

後期生徒会いよいよ始動！学級役員任命式

春山会長から下川会長へ生徒会旗を引き継ぐ 9月28日



任命状を受け取る、各専門部長や学級役員の表情も引き締まります。



「自分革命」あなたが主役
～ 後期生徒会スローガン ～



直中の横顔

生徒会の新執行体制が整い、下川あおい生徒会長のもと、後期生徒会が本格的に動き始めました。

11月3日開催予定の、文化祭「スローガン」に込めた全校生徒の思いを伝えるに、わざわざ校長室に来てくれた、下川生徒会長と3年生の木許君、尾形君。

これまでの文化祭を越えたいと、一生懸命に語ってくれた気持ちを直川中全員で「形」にして見せてくれるものと思います。

さて、週末ごとに台風に見舞われ、地域行事や秋のイベントが延期や中止を余儀なくされる中、10月5日から中学校佐伯市新人体育大会が実施されました。屋内競技だけの実施でしたが、卓球部の1・2年生7名がすばらしいデビュー戦を飾りました。

また10月8日には、台風一過の秋晴れのもと、県新人大会への出場権をかけた、野球の大会が開催されました。2時間を超えるゲームでしたが、手に汗握る真剣勝負、あきらめない全員野球の力を見せてくれました。

10月14日は、杵築市にて空手道の県新人大会が行われ、小田部君、尾形君の1年生2名が代表出場を果たしました。

保護者の皆様方には、長時間に渡りあたたかい声援や応援、励ましをいただき本当にありがとうございました。



準優勝！男子卓球部

佐伯市新人体育大会



2年女子：第2位
橋本 愛織



1年男子：第1位 橋本 翔
第2位 下川 翔大

第3位！野球部

佐伯市新人体育大会兼県新人予選



たとえ失敗したとしても
次に生かせればいい
失敗を繰り返し返しても
いつか成功を
つかみとれる
そう信じていこう
自分だけの「道」の
ゴールをめざして



ソフトテニス部の新人戦は、雨のために中止となりました。実力を発揮できるその日まで、地道に研鑽を積みませう。

大分県「租税教育」研究指定校 1年目の実践レポート(その1)

直川中学校は、大分税務署にて「租税教育研究校」としての委嘱状を交付されました(5月14日付)。本年度から2年間の研究指定です。

《大分県内の小中学校の児童・生徒に、正しい知識に基づく租税観を養う》ことを目的として、税金の仕組みや、使われ方、税金の種類や役割などについて、専門家やエキスパートを招くなどしながら、2年間にかけて学んでいきます。

6月11日 さあ!はじまるよ

「租税教育」についてのプレゼン説明
全体説明：立石俊夫先生

7月11日「第1回租税教室」(全校)
税理士：清家大輔 様

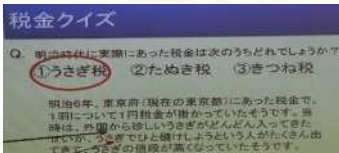


今日のお話

- ・税金はなぜ必要なの？
- ・公平に集めるって？
- ・公平に使うって？
- ・日本の財政と課題



「今日は特別に、1億円のレプリカを用意しました。」ジュラルミンケースから取り出した札束！に驚きの声。本物とほぼ同じ重さです。代表して持ってみました。



10月1日「佐伯税務署訪問」(3年生)



佐伯税務署の三宅浩一署長から「税務署の仕事」について講話をしていただいた後、実際に所得税確定申告書の模擬作成に挑戦しました。生徒達には、あまりなじみのない「用語」も多かったのですが、説明を受けながらもしっかりと『確定申告書』を作成しました。貴重な体験となりました。

FMさいき特別賞！尾形 聡真さん
「敬老の日に贈るありがとうの手紙作文コンクール」

第7回となる「敬老の日に贈るありがとうの手紙作文コンクール」で特別賞に輝いた尾形聡真さん。

聡真さんが朗読する手紙の内容は、FMラジオを通じて佐伯中に放送されました。曾祖母(ひいおばあちゃん)が元気に畑仕事に精を出したり、自転車に乗って出かけたりする様子などが、家族のあたたかい眼差とともに、優しい文面で語られました。



直川中の文化祭は

11月3日(土)開催です。



全校生徒、ひとりひとりが輝く姿をぜひご参観ください！
弁論・ビブリオバトル・制作展示や全校合唱...etc
楽しい生徒会企画満載です。

2018 文化祭テーマ

直川旋風 ～そろそろガチろか～



平成30年度 第13号

平成30年11月29日

直中通信

発行：佐伯市立直川中学校

TEL:0972-58-2009

FAX:0972-25-5007

文責：校長 柳井雅子

友や地域と協働しながら 学びに向かい、自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

中学生の「税についての作文」入選 ～国税庁主催～

佐伯税務署署長賞 下川 あおい (2年)

佐伯市医師会会長賞 増尾 有花 (2年)

直中の横顔

直川中学校の中庭は、ちょっとした日本庭園のような趣(おもむき)があり、今が見頃を迎えています。人の背丈ほどの高さしかない『もみじ』の木なのですが、どれもみごとに紅葉し、東の間、心を和ませてくれる空間となっています。

この2学期は、芸術文化について触れることが多く、生徒たちが主体となって、活動に参加し、演じたり、歌ったり、語ったりする「表現」の機会にも恵まれました。生徒一人ひとりが、一段とたくましく、頼もしく成長をとげているのを感じます。

『芸術文化とは、人々に感動や生きる喜びをもたらす人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で、大きな力となる。その果たす役割はきわめて重要である…(文化庁)』とあります。

11月24日、ここ直川小中体育館で開催された大衆演劇《いろは座》公演に集い、笑い、涙し、拍手を送る方々の姿に、芸術文化のもたらすパワーを感じました。



○佐伯税務署長の三宅浩一様から、表彰を受けました(10月29日)。2人は作文を読み上げ、三宅署長から講評していただきました。ケーブルTVでも紹介されました。

本年度から2年間、本校では「大分県租税教育推進協議会」から研究指定を受け、税のしくみや果たす役割などを学んでいます。生徒たちの学びが、深まっています。

文化・芸術・スポーツ

友や地域と協働した秋のひとこま



「独歩会」代表者を迎えて
合唱曲練習発表会式(7月2日)

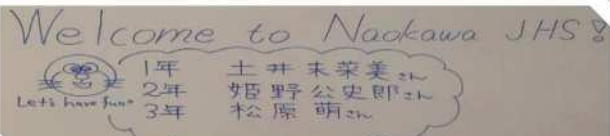


第46回 直川地区体育大会に参加し、大活躍の中学生たち



～第33回 国民文化祭・おおいた2018～ 「合唱組曲 豊後の國佐伯」復刻演奏会

英語de学ぼう! ~大分大学の学生3名来校~



11月15日。大分大学教育福祉科学部より、英語科を専攻している3名の学生さんたちが来校し、英語の特別授業をしました。

- 1年生担当：土井未菜美さん
- 2年生担当：姫野公史郎さん
- 3年生担当：松原 萌さん

限られた時間でしたが、若き教師の卵たちは、一生懸命に授業を工夫し、生徒と一緒に授業を創り上げてくれました。

小中合同火災避難訓練



~生徒が安全・安心に過ごせる学校に~
火災避難訓練を実施しました(11月27日)

○休憩時間に火災が発生した場合を想定し、火災避難訓練を実施しました。緊急放送から避難完了まで《1分43秒》でした。真剣な表情で、みな落ち着いた行動がとれていました。

第1講座「職業講話」 講師：泥谷 正太様



11月8日。2年生の総合学習の一環として「職業講話」を開催しました。講師にヒジャ自動車の代表取締役の泥谷正太様をお招きしました。仕事や職業に対する思いや願い、心構えなどについて、若い頃の体験談や、喜びを感じた経験などを交えながら、様々な視点からお話していただきました。

第2講座「職業講話」 講師：小原 南陽様



第2講座「職業講話」では、講師に正定寺の住職、小原南陽様をお招きしました。職業観について考え、思い悩むことは、人として生きていく上でも、大切な営みであることにつながることや、禅との関わりや経験を踏まえながら、わかりやすく丁寧に説いてくださいました。



シリーズ給食風景 3年生

第12回佐伯市地区対抗駅伝競走大会

12月16日(日)開催予定の、佐伯市対抗駅伝競走大会に向け、直川中学校から男女各2名が選抜され、練習を重ねています。毎週火曜日の夜、源六原グラウンドにて、体育協会の方々の専門的なご指導を受けながら、トレーニングを積んでいます。体調管理にも気をつけながら、練習の成果を大いに発揮して本番に臨んでください。

- 3年男子 尾形 聡真さん 佐藤 直樹さん
- 2年女子 橋本 愛織さん 増尾 有花さん



令和元年度 第29号

令和元年10月11日

直中通信

発行：佐伯市立直川中学校

TEL:0972-58-2009

FAX:0972-25-5007

文責：校長 柳井雅子

友や地域と協働しながら 学びに向かい、自信と創造力をもって「表現」できる生徒の育成

バトンタッチ！ 令和元年度 後期生徒会へ 下川会長から木許会長へと生徒会旗が引き継がれました



Face～直中らしさを～
後期生徒会スローガン



学級役員 の 任命状 交付式

生徒会の新執行体制が整い、木許千遥生徒会長のもと、後期生徒会が本格的に動き始めました。各専門部長から活動方針案が示され、生徒総会で承認されました。直中生が総力をあげて実現する「明るく楽しい学校」「みんなが生き生きとした顔に」という意味を込めて掲げたスローガン。それが、「FACE」です。あなたの笑顔が、輝く毎日に。

直中の横顔

10月8日に、ノーベル化学賞を受賞した旭化成の吉野彰氏(71)。「明確なゴールを確信できれば、苦しい時があっても乗り越えられる」と、研究に向き合ってきた姿勢を語っておられました。私たちが日常的に使い始めている携帯電話(スマートフォン)等の小型軽量化に欠かせない、リチウム電池を研究開発し、その功績が認められたのです。

時代のニーズが、今やっと追いついたのだとしたら、吉野氏の研究の日々は、きっと理解者も少なく、ある意味で「孤独」でもあったらと思うました。71歳にして、みずみずしい感性をもっている姿に、頭が下がります。

ところで、10月に入ってからも、週末ごとに台風に見舞われるなど、これまで準備してきた秋のイベントや地域の行事等の延期や中止が相次ぎました。

そんな心配をよそに、10月4日に、佐伯市中学校新人体育大会が無事に開催されました。卓球部・野球部・ソフトテニス部の1・2年生が、すばらしいデビュー戦を飾りました。

10月14日は、杵築市にて空手道の県新人大会が行われます。尾形君、小田部君の2年生2名が、代表出場を果たす予定です。7月の県総体では、2名とも相次ぐ故障のため、出場することがかきませんでしたが、今大会では、有り余るパワーを炸裂させてくれることでしょう。

保護者の皆様方には、朝早くから各会場に足を運んでいただき、あたたかい声援や応援、励ましを本当にありがとうございました。

佐伯市中学校新人体育大会

団体優勝！ 男子卓球部



個人戦2年男子卓球
優勝：下川翔大さん



個人戦2年男子卓球
第3位：橋本翔さん



ソフトテニス部
個人戦**第2位**！
野々下和花さん
木許 千遥さん
昨年の新人戦は、雨のために中止。地道に実力をつけてきた成果が存分に発揮できました。

大分県中学校英語弁論大会の佐伯市予選大会が、8月23日に佐伯市教育委員会「まな美」にて開催されました。

各中学校から代表者1名が出場し様々なテーマで、英語による弁論を発表した中、みごと「優賞」に輝いた本校の安土凜さん(3年生)素晴らしい内容については、11月2日の直中文化祭にて、発表します。皆様、どうぞ楽しみにご来場くださいませ。



安土 凜さん(3年生)

優勝！ 安土 凜さん The Cyampion



※安土凜さんは、本年度から始まった「佐伯市中学校台湾短期留学」の1期生として、9月21日～9月25日にかけて、台湾新民高校(中学)で現地中学生との交流や英語授業を体験しました。

深まる秋

学びの秋

文化の秋

芸術の秋

管弦楽フレイヤーズコンサート(9月24日)



「租税教育」佐伯税務署訪問 (3年生)



佐伯税務署の谷口義弘署長から歓迎のあいさつをいただいた後「税務署の主な役割や仕事内容」についての講義を受けました。実際に所得税確定申告書を模擬作成する体験など、生徒達は専門的な視点を与えていただきながら、『確定申告書』を作成しました。(9月30日)

第1回ドローンプログラミング教育(キッズチャレンジ)

-「学びに向かう力」を育てる「本物に出会う」企画講座-



実際にプログラミングした通りに飛び立ったのか！「ドローン」に思いを込める。(9月26日)

「思春期こころの健康講演会」 Dr.山内勇人

思春期
こころの健康講演会



山内Dr.は精神科の医師でもあります。思春期の複雑な心の変化、あせりや不安感、もやもやした気持ちなどについて、わかりやすく丁寧に、時に笑いを誘いながら、お話しして下さいました。

養護教諭の染矢幸子先生が企画し実現したこの講演会は、貴重な学びの場となりました。

直川中の文化祭は

11月2日(土)開催です。



さあ、「直中物語」の幕開けです。全校生徒、一人ひとりが輝く姿を是非ご参観ください！合唱・英語弁論・ビブリオバトル・制作展示・・・etc 楽しい生徒会企画が満載！

2019 文化祭テーマ

直中物語 ～刻め！最高の1ページ～

令和元年度 佐伯市薬剤師会会長賞

「助け合う税員で」

佐伯市立直川中学校 二年 木許 千遥

『税金に助けられたことはありませんか』と聞かれ、『いいえ』と答える人はいないのではないのでしょうか。私は今まで、日本の国民の人々が納めてきた税金により、助けられたことが幾度となくあります。

例えば、病院に行く時の医療費免除や、道路が整備されることにより、安全に登校することが可能になっていることなどです。税金により助けられているのは、私のような未成年だけではなく、父や母、祖父母など、たくさんの方が税金により、助けられています。では、税金というものは、一方的に助けられている、または、助けられているという状態が成立して出来ているものなのでしょうか。それは違います。未成年者も高齢者も「全員」で「税員」になっています。未成年でも、消費税を払うことにより、社会保障に役立てられています。私たちが、安全で、安心した生活を送るためには、税金は不可欠であると言えます。

ですが、どうでしょうか。もし、税金の無い世界だったら……。今まで、長期に渡って学習してきた税金について、その租税教育の中では「税金が無かったら、火事が起きても、救急車を呼ぶお金が無くて、火が消せない」「お金が無いから学校に通えない子どもが出てくる」「ゴミを回収する人がいないから、町がごみだらけになってしまう」等と、習ってきました。

私は今まで、そうは思っていませんでした。なぜなら、もし税金が無い世界だったら、助けてもらわない代わりに、助けなくてもいい、つまり、お金を支払わなくて済むということになるからです。今まで支払ってきたお金が、手元にあるということになるため、教育費が払えない、消費するお金が足りない、ゴミ収集車を呼ぶお金がない、というようなことは、ないのではないかと考えていました。ですが、それは違っていました。

もちろん、経済的な面でも、人々が全くの補助なしで、お金にゆとりを持ち、生活することは、不可能だと思いました。また、後世を担う人材を育てるために、みんなでお金を出し合い、人が、安全に安心して暮らせる環境を整えることが大切だと言うことに、気づきました。

私たちの税金により無償で配布された教科書には、こう書かれています。「この教科書は、これからの日本を担うみなさんへの期待を込め、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」

私たちのような、義務教育の下で育てられている人間は、ひとり一人が、将来に期待されています。その期待に見合う人間になりたいと思います。現世だけで無く、後世を残すために、税金を払う必要があるのです。

「全員で、税員」に！
私たちは、この目標の意義を提示する必要があると、あらためて考えさせられました。



平成31年度

【指導・助言者】

大分県教育庁義務教育課

指導主事 長谷部 英樹

大分県教育庁佐伯教育事務所

指導主事 牧野 裕光

佐伯市教育委員会学校教育課

指導主事 御鱗 角治

大分税務署

税務広報広聴官 小倉 大助

税務広報広聴官 益永 寿美

【研究同人】

校長 柳井 雅子

教頭 市川 満

教諭 立石 俊夫

教諭 木許 省二

養護教諭 染矢 幸子

教諭 宗 典子

教諭 戸高 文世

教諭 小野 恵

教諭 野崎 紋子

教諭 山田 紘一

臨時講師 井川 陽子

非常勤講師 富高 強

アドバイザー 仲野 照代

学校主事 白井 美豊

令和元年度

【指導・助言者】

大分県教育庁義務教育課

指導主事 長谷部 英樹

大分県教育庁佐伯教育事務所

指導主事 野々下 睦代

佐伯市教育委員会学校教育課

指導主事 御鱗 角治

大分税務署

税務広報広聴官 小倉 大助

税務広報広聴官 益永 寿美

税務広報広聴官 西ノ園 亮太

【研究同人】

校長 柳井 雅子

教頭 市川 満

教諭 立石 俊夫

教諭 久保田 信彦

養護教諭 染矢 幸子

教諭 高山 岳士

教諭 宗 典子

教諭 戸高 文世

教諭 小野 恵

教諭 野崎 紋子

非常勤講師 外山 範雄

アドバイザー 滝川 美樹

学校主事 白井 美豊



ZeroCircle NAOKAWAJHS

佐伯市立直川中学校



さあZeroCircleで学んだ事をプレゼンしよう！

ZeroCircle (C)		1C	2C	3C	4C	5C
【租税教育の目標】 友や地域と協働しながら 主体的に社会に貢献しよう！		【Circle目標】 学ぼう 税！	【Circle目標】 森林希気	【Circle目標】 郷	【Circle目標】 熱血根性	【Circle目標】 教学相長
1 学 年	1年租税教育目標 「税の知識と理解」 租税教室1 林業体験	森 崎	大 井	渡 邊	風 戸	
		1学年の総合学習「林業体験」を通して、直川の林業を中心とした税の仕組みや林業環境税や事業税について調べ、その必要性や問題点をまとめて、Circle内でシェアする。 道徳教育や租税教室1から学んだことをCircle討議で活かす。				
2 学 年	2年租税教育目標 「税の有効利用」 租税教室3 企業訪問 職場体験 修学旅行	野々下 河村陸	橋本翔 谷 川	木 許 小田部	山 本 尾 形	鷓 戸 下川翔 河村彪
		2学年の総合学習「企業訪問」「職場体験」で、実際に地域のさまざまな職種と税について、地域の人々の生の声を収集し、それをもとに税制の課題やあるべき姿をCircle内でシェアする。 修学旅行の自主研修において、観光税などへの意見を京都の土産物店や観光客にインタビューする活動を通して、具体的な新設税について学ぶ。 道徳教育や租税教室1～3で学んだ事をCircle討議で活かす。				
3 学 年	3年租税教育目標 「税が築く未来社会」 租税教室3 直川塾 福祉体験	山 崎 増 尾	阿 部 安 土	甲 斐 橋本愛	高 原 下川あ	小 野 三 宮
		3学年の総合学習「直川塾」を通して、ふるさと直川の今と未来のために、どのような税制が必要かを考え、それをCircle内で提案し、各学年が学んできたことをまとめて、表現する。 「福祉体験」を通して、介護や福祉施設など社会を支えていく税制のこれからのあり方についてCircle内でシェアする。APU訪問を通じて、外国の税制や留学生の意見を集め、インバウンド政策を進めていく際の留意点などを考える。道徳教育や租税教室1～3で学んだことをCircle討議で活かす。 社会科公民経済単元で学んだ持続可能な社会の形成のため不可欠な税制について、Circle内でシェアする。				
担当の先生		野 崎	小 野	戸 高	宗	高 山

ZeroCircle自主研修テーマ

第 1 C	未来の直川の福祉と税の使いみちについて、提言をしよう。
第 2 C	ふるさとの森林を守るための森林環境税について、提言しよう。
第 3 C	「日本を元気にするふるさと納税」について、調べてみよう。
第 4 C	中学生の日常を奪う災害と税との関係について、考えよう。
第 5 C	観光客から集める税と佐伯市の税収を増やす方法について、考えよう。

あなたのoutputはわたしのinput!

他のCircleのプレゼンを聞いて、
自分たちのCircleの提言に新たな考えを取り入れよう。

- (1) それぞれが10分間のZeroCircleプレゼンをします。
- (2) 他のCircleのプレゼンの最中は、次のことをします。
 - ※Circleのレジюмеに提言などをメモします。
 - ※4つのkeywordなどの意味を考えながら、自分たちのCircleの提言に取り入れられる点はないかを考えます。
 - ※プレゼンの後半には、ロイロで「Circleへの疑問感想」を提出します。
- (3) 全てのプレゼンが終了したら、Circleごとに他のCircleのプレゼンの中から自分たちのCircleの提言に取り入れられそうなアイデアやヒントをまとめ、新提言や修正案を考えます。
- (4) 新提言をロイロで提出し、発表します。

新提言はここに書こう。どのCircleのどんな点を取り入れたのかを明確にして発表すること。

ここを聞き逃すな! 4つのkeyword

keywordの意味を書き込もう!

第5 Circle

- ①消費税
- ②入湯税
- ③インバウンド
- ④鉱泉

第1 Circle

- ①ご近所宅シー
- ②よろうや直川
- ③どこでもWi-Fi
- ④災害シェルター

第4 Circle

- ①節水・節電
- ②防災
- ③キコレンジャー
- ④避難所マップ

ZeroCircle 4 keyword

第3 Circle

- ①ふるさと納税
- ②返礼品
- ③悪質サイト
- ④控除上限額


第2 Circle

- ①森林環境税
- ②商品開発
- ③アロマオイル
- ④NAOKAWA
BRAND

第1サークル

ぜえい 「学ぼう税！」

メンバー



研究テーマ 未来の直川の福祉と税の使いみちについて提言しよう！

課題設定 直川のお年寄りが望む生活とはどんな生活だろうか？

直川のお年寄りが望む生活とは・・・

現在あるお年寄りのための支援	お年寄りが望んでいる支援
コミュニティバス 家事 見守り 災害対策 食事 労働	交通手段 活動支援 施設整備 災害対策 自然 過疎化阻止 交流 家事 労働力

直川の福祉を考える上でのキーワード

まとめ

直川で、人と ながら、 に
 と暮らすことができる生活

分析とまとめ

話を聞きながら、
空欄をうめてね

提言







9万4千円 22万円 217万円

第2 サークル 森林希気

1. 直川の林業 の現状は？

○困っていることは何だろう？

2. 森林環境税 って何だろう？

○いつ・どういう理由で始まった？
○誰が対象？いくら払ってるの？
○何に使われていて、各市町村にどう分けられているの？

～ふるさとの森林を守るための
森林環境税について提案しよう～

3. 直川の森林を守るために、森林環境税を何に使ったら良いのだろう？

○どうやったら、林業従事者が増えるのだろう？

第3サークル

郷ごう

故郷を大切に思う気持ちとGoという読み方をすることで、グループの活動する様子を表現しました。研究テーマは、**日本を元気にする「ふるさと納税」**です。

1. ふるさと納税のお得なくみって、どういうシステムなの？

○2000円で返礼品が返ってくるからくりは？

2. われらが佐伯市のふるさと納税の返礼品にはどんな品があるの？

○佐伯市返礼品ベスト10は？
○展示品もあります。佐伯市外の方は是非どうぞ！



3. ふるさと納税ってどうやって、いくら申し込めばいいの？

○サイトが便利、でも気をつけないといけないことは？
○上限の金額をわかっていないと、ただの寄付になっちゃう？

4. 確定申告で還付・控除完了！ どうやったらいいの？

○確定申告しなくても簡単な制度がある？

お楽しみに！

第4サークル「熱血根性」班

テーマ「中学生の日常を奪う災害と税の関係について」

～中学生の日常～



- ・学校のどんなものに税金が使われているのかな？
- ・佐伯市の学校では一年間にいくら使われているのかな？
- ・学校の修繕費が足りなくなったらどうするんだろう？
- ・先生、生徒、保護者の意識調査。



税金

～日常を奪う災害～

- ・今、地震が起きたらどこに逃げる？
- ・直川の過去の災害は…？
- ・大分県近辺の大きな災害被害額？
- ・災害が起こったら、税金はどう使われる？
- ・防災活動。そして、わたしたちにできること



教学相長

班

メンバー

佐伯市の税収を増やしたい!

外国人観光客を増やす!

インバウンド対応で必要なこと



外国人観光客が増え、佐伯市の税収増につながる。

かぶとむしの湯で入湯税

佐伯市税条例 第141条

入湯税は鉱泉浴場における入湯に対し、入浴客に課する。

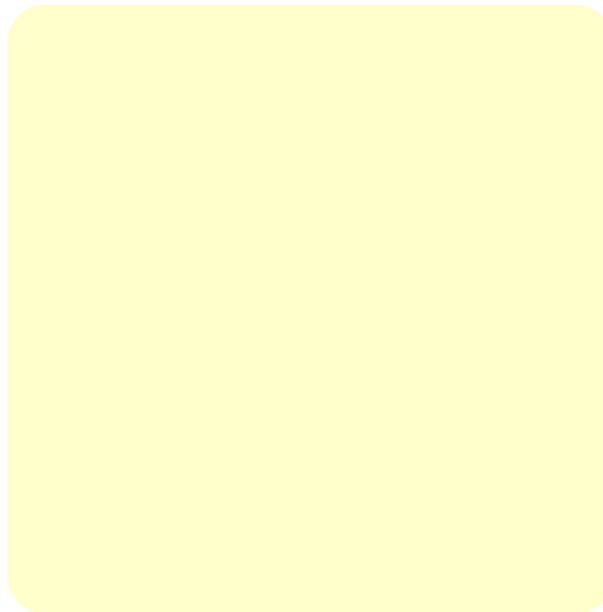
第142条

次に掲げる者に対しては、入湯税を課さない。
(3) 宿泊を伴わない場合において、その利用料金が1,000円以下の鉱泉浴場に入湯する者。

第143条

入湯税の税率は、入湯客1人1日について、150円とする。

条例の変更や、条例の内容をクリアするためにどうするか



入湯税を得ることができ、佐伯市の税収増につながる。